

1 円の公式をかきましょう。

円周の長さ = (直径 × 円周率)

円の面積 = (半径 × 半径 × 円周率)

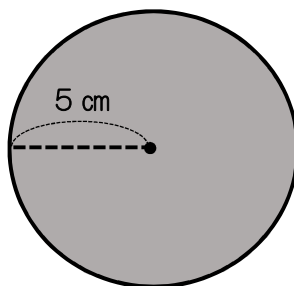
2 円周率を3.14として、半径10cmの円の面積を求めましょう。

(式 $10 \times 10 \times 3.14 = 314$)

(答え 314 cm^2)

3 次の図形の面積を求めましょう。

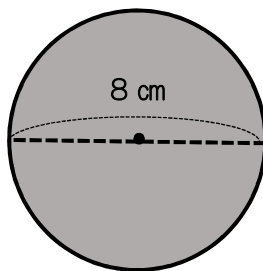
(1)



(式 $5 \times 5 \times 3.14 = 78.5$)

(答え 78.5 cm^2)

(2)



(式 $4 \times 4 \times 3.14 = 50.24$)

(答え 50.24 cm^2)

4 右の図のように、半径6cmの円を、直径で切った図形について、次のものを求めましょう。

(1) AからBまでの直線の長さ

(式 $6 \times 2 = 12$)

(答え 12 cm)

(2) AからBまでの曲線の長さ

(式 $12 \times 3.14 \div 2 = 18.84$)

(答え 18.84 cm)

(3) この図形のまわりの長さ

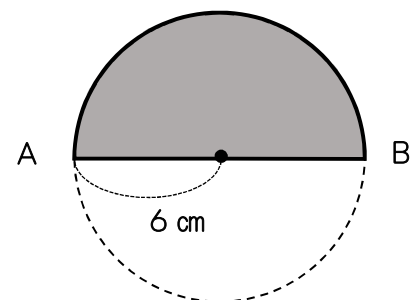
(式 $18.84 + 12 = 30.84$)

(答え 30.84 cm)

(4) この図形の面積

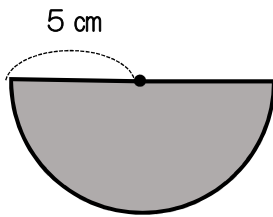
(式 $6 \times 6 \times 3.14 \div 2 = 56.52$)

(答え 56.52 cm^2)



次の図形の面積を求めましょう。

(1)

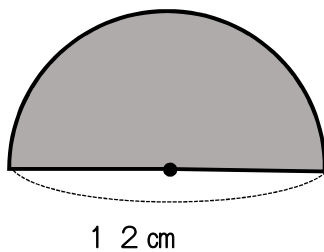


(式 $5 \times 5 \times 3.14 \div 2 = 39.25$)

(答え 39.25 cm^2)

半径 5 cm の円の面積の半分

(2)

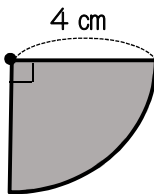


(式 $6 \times 6 \times 3.14 \div 2 = 56.52$)

(答え 56.52 cm^2)

半径 6 cm の円の面積の半分

(3)

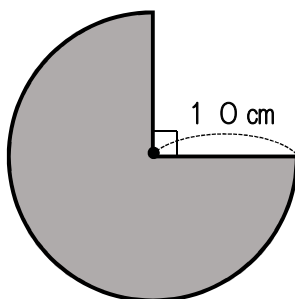


(式 $4 \times 4 \times 3.14 \div 4 = 12.56$)

(答え 12.56 cm^2)

半径 4 cm の円の面積の 4分の1

(4)



式 $10 \times 10 \times 3.14 = 314$
 $314 \div 4 = 78.5$
 $314 - 78.5 = 235.5$

または

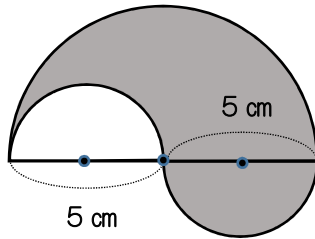
$10 \times 10 \times 3.14 \times \frac{3}{4} = 235.5$

半径 10 cm の円の面積の 4分の1 が欠けているので、円の全体の面積から 4分の1 を引く。
 または、求める面積は、半径 10 cm の円の全体面積の 4分の3 にあたる。

(答え 235.5 cm^2)

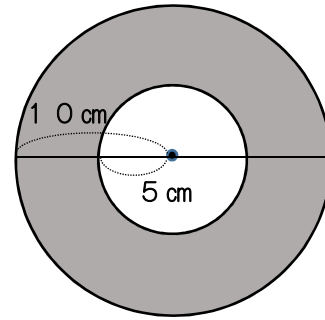
1 色のついた形の面積をもとめましょう。

(1)



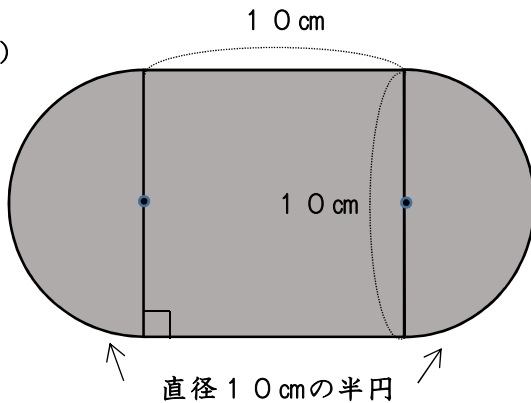
(式 $5 \times 5 \times 3.14 \div 2 = 39.25$)
(答え 39.25 cm^2)

(2)



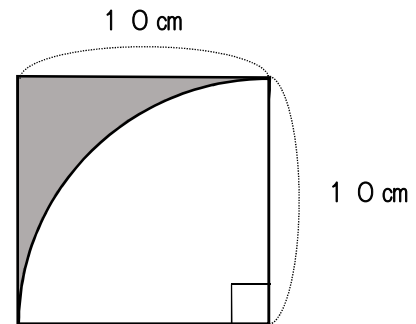
(式 $10 \times 10 \times 3.14 - 5 \times 5 \times 3.14$)
($= 314 - 78.5 = 235.5$)
(答え 235.5 cm^2)

(3)



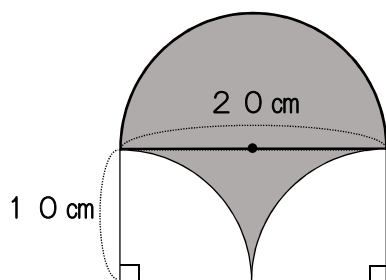
(式 $10 \times 10 + 5 \times 5 \times 3.14$)
($= 100 + 78.5 = 178.5$)
(答え 178.5 cm^2)

(4)



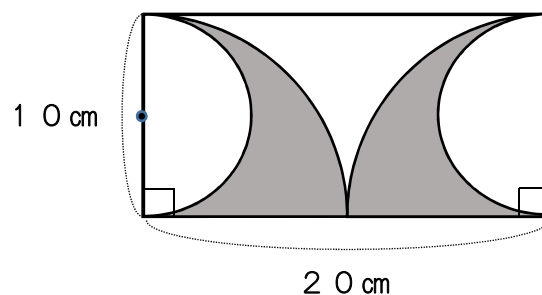
(式 $10 \times 10 - 10 \times 10 \times 3.14 \div 4$)
($= 100 - 78.5 = 21.5$)
(答え 21.5 cm^2)

(5)



(式 $10 \times 20 = 200$)
(答え 200 cm^2)

(6)



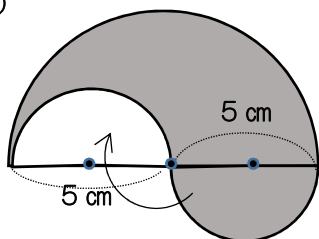
(式 $10 \times 10 \times 3.14 \div 2 - 5 \times 5 \times 3.14$)
($= 157 - 78.5 = 78.5$)
(答え 78.5 cm^2)

※ うらにヒントカードがあります。

2-③ ヒントカード

1

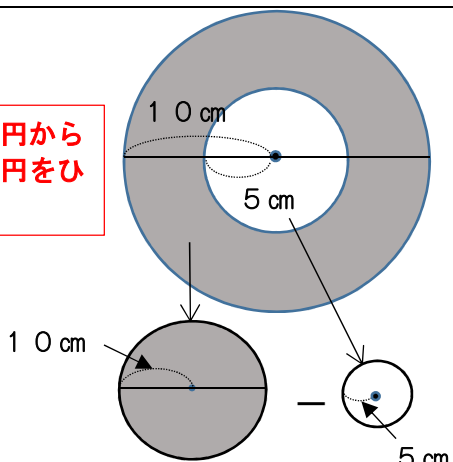
(1)



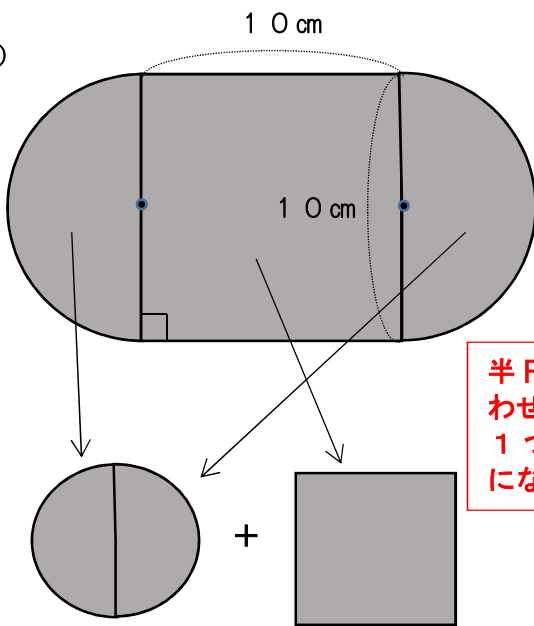
小さい半円を移動させると、大きな半円になる。

(2)

大きい円から小さい円をひく。



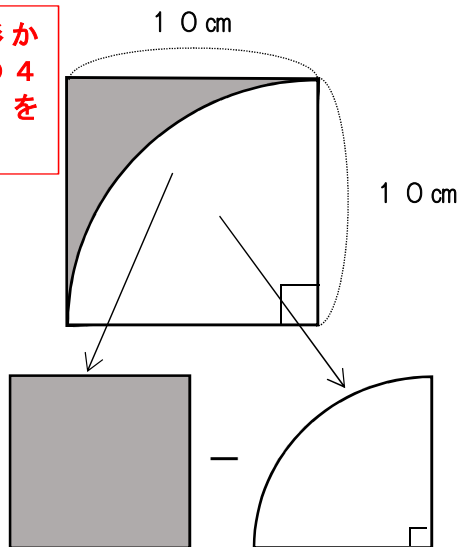
(3)



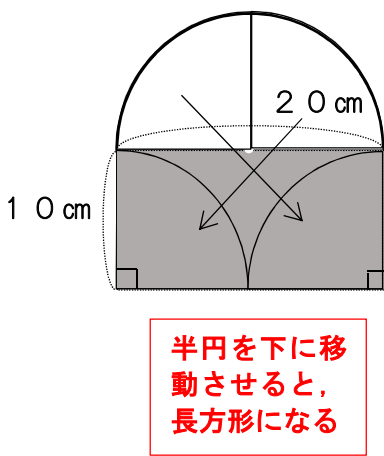
半円を合わせると、1つの円になる。

(4)

正方形から円の4分の1をひく。



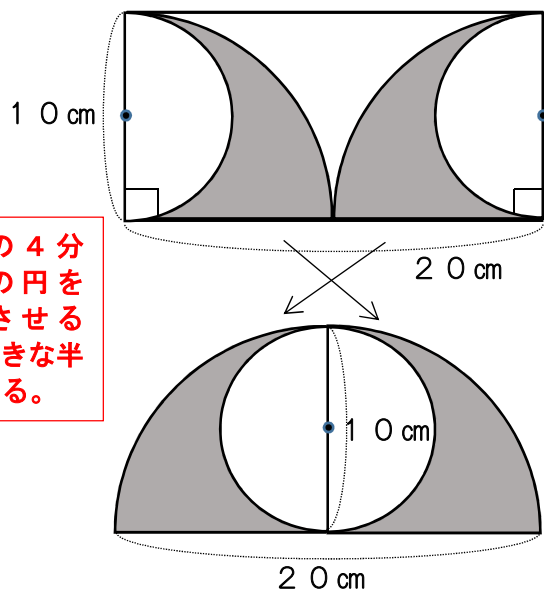
(5)



半円を下に移動させると、長方形になる

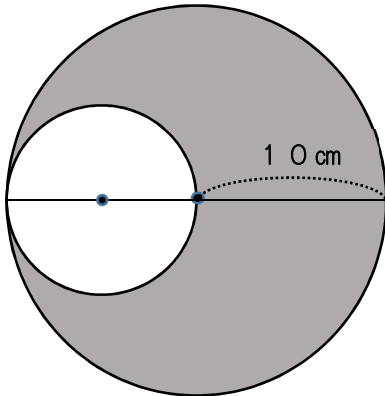
(6)

左右の4分の1の円を移動させると、大きな半円になる。



色のついた形の面積をもとめましょう。

(1)

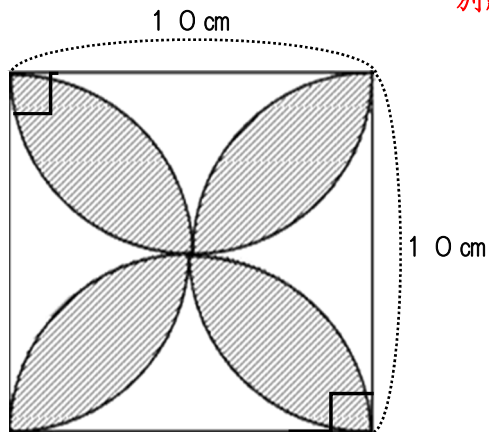


$$(式 \quad 10 \times 10 \times 3.14 - 5 \times 5 \times 3.14 \quad)$$

$$(\quad = 314 - 78.5 = 235.5 \quad)$$

$$(答え \quad 235.5 \text{ cm}^2 \quad)$$

(2)



別紙解答参照

おうぎ形の面積

$$5 \times 5 \times 3.14 \div 4 = 19.625$$

直角二等辺三角形の面積

$$5 \times 5 \div 2 = 12.5$$

葉っぱ半分の面積

$$19.625 - 12.5 = 7.125$$

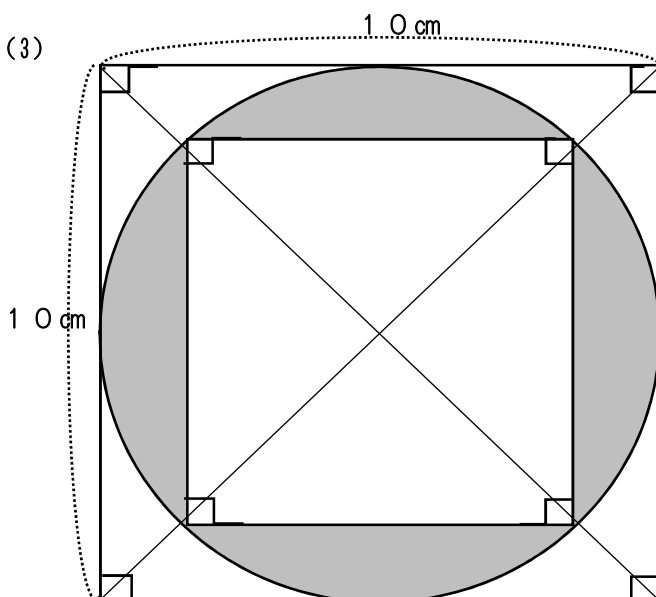
葉っぱ1枚の面積

$$7.125 \times 2 = 14.25$$

葉っぱ4枚分の面積

$$14.25 \times 4 = 57 \quad (答え \quad 57 \text{ cm}^2)$$

(3)



別紙解答参照

円の面積

$$5 \times 5 \times 3.14 = 78.5$$

円内の正方形の面積

$$10 \times 5 \div 2 \times 2 = 50$$

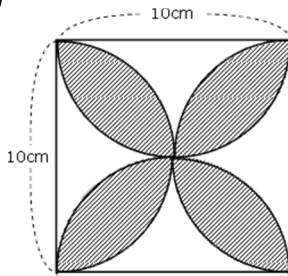
色のついた部分の面積

$$78.5 - 50 = 28.5$$

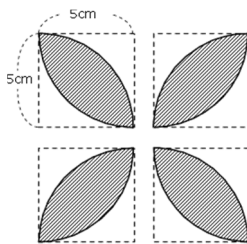
$$(答え \quad 28.5 \text{ cm}^2)$$

別紙解答

(2)

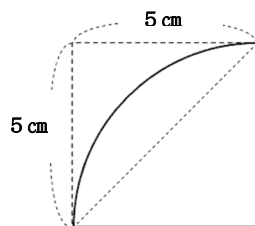
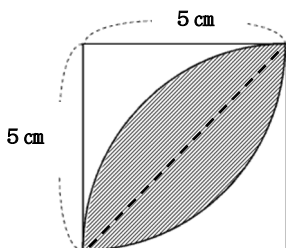


葉っぱが4つの四つ葉型の面積です。
葉っぱ1枚分の面積を求めて4倍すれば、四つ葉の面積になります。



左の図のように、四つ葉を分けて考えると、葉っぱ1枚が入っている正方形の一辺の長さは、5cmです。

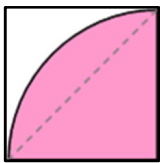
まず、葉っぱ1枚分の面積を求めます。



この葉っぱ型の図形は、おうぎ形と直角三角形できていることがわかります。

そして、下の図のようにひき算すると、葉っぱの半分の面積が計算できるので、最後にそれを2倍します。

おうぎ形の面積
円の面積÷4



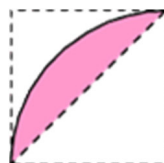
$$\begin{aligned} 5 \times 5 \times 3.14 \div 4 \\ = 19.625 \\ 19.625 \text{cm}^2 \end{aligned}$$

直角三角形
底辺×高さ÷2



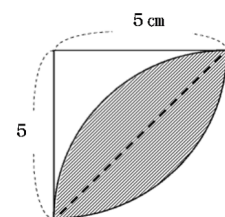
$$\begin{aligned} 5 \times 5 \div 2 \\ = 12.5 \\ 12.5 \text{cm}^2 \end{aligned}$$

おうぎ形－直角三角形
(葉っぱの半分の面積)



$$\begin{aligned} 19.625 - 12.5 \\ = 7.125 \\ 7.125 \text{cm}^2 \end{aligned}$$

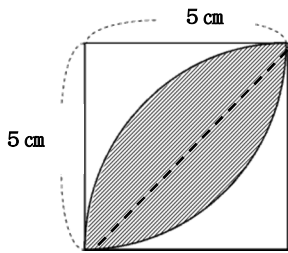
葉っぱ1枚の面積は
葉っぱの半分の面積×2



$$\begin{aligned} 7.125 \times 2 = 14.25 \\ 14.25 \text{cm}^2 \end{aligned}$$

葉っぱ1枚の面積がわかると、四つ葉の面積は 葉っぱ1枚の面積×4 で求められます。

別解 1



1辺5cmの正方形の面積から、左図の白部分の面積を引いて、葉っぱ部分の面積を求める。

(正方形の面積を求める)

$$5 \times 5 = 25$$

(おうぎ形の面積)

$$5 \times 5 \times 3.14 \div 4 = 19.625$$

(正方形の面積からおうぎ形の面積を引き、白部分1つの面積を求める)

$$25 - 19.625 = 5.375$$

(正方形の面積から白部分2つの面積を引き、葉っぱ部分の面積を求める)

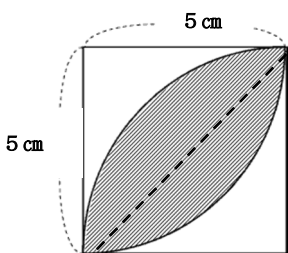
$$25 - 5.375 - 5.375 = 14.25$$

(葉っぱ4つ分)

$$14.25 \times 4 = 57$$

(答え 57cm²)

別解 2



左図1辺5cmの正方形の面積からおうぎ形の面積を引いて、左図の白部分1つ分の面積を求める。次に、おうぎ形の面積から白部分1つ分の面積を引くと、葉っぱ部分の面積を求める。

(正方形の面積を求める)

$$5 \times 5 = 25$$

(おうぎ形の面積を求める)

$$5 \times 5 \times 3.14 \div 4 = 19.625$$

(正方形の面積からおうぎ形の面積を引き、白部分1つ分の面積を求める)

$$25 - 19.625 = 5.375$$

(おうぎ形の面積から白部分1つ分の面積を引き、葉っぱ部分の面積を求める)

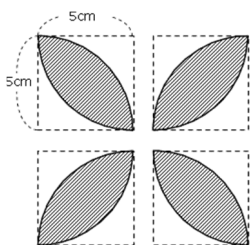
$$19.625 - 5.375 = 14.25$$

(葉っぱ4つ分)

$$14.25 \times 4 = 57$$

(答え 57cm²)

別解 3



左図1辺5cmの正方形の面積からおうぎ形の面積を引いて、白部分1つ分の面積を求める。1辺10cmの正方形には、白部分が全部で8つあることに着目し、1辺10cmの正方形の面積から白部分8つ分を引き、葉っぱ部分の面積を求める。

(1辺5cmの正方形の面積とおうぎ形の面積を求める)

$$5 \times 5 = 25$$

$$5 \times 5 \times 3.14 \div 4 = 19.625$$

(正方形の面積からおうぎ形の面積を引き、白部分1つ分の面積を求める)

$$25 - 19.625 = 5.375$$

(1辺10cmの正方形における白部分全部の面積を求める)

$$5.375 \times 8 = 43$$

(1辺10cmの正方形の面積から、白部分全部の面積を引き葉っぱ部分の面積を求める)

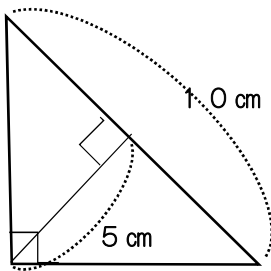
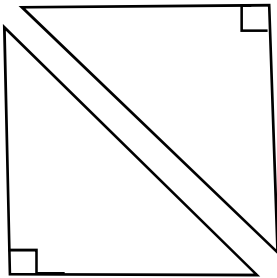
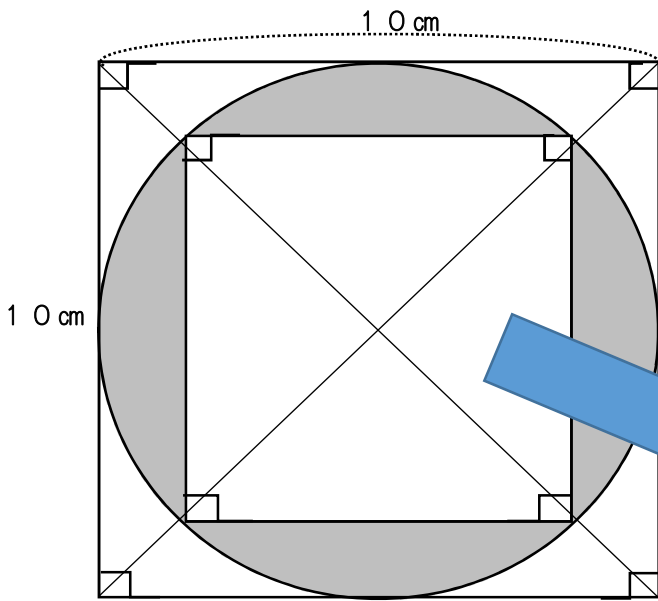
$$10 \times 10 - 43 = 57$$

(答え 57cm²)

(3) 解答例 1

直径10cmの円の面積から、円内の正方形の面積を引くと、色のついた部分の面積が求められます。

円内の正方形の面積を求めるときに、この正方形の1辺の長さは分からないので、下図のように、直角二等辺三角形を2つ合わせた形と考えます。



(直径10cmの円の面積を求める) $5 \times 5 \times 3.14 = 78.5$

(円内の正方形の面積を求める)

円内の正方形を2つの直角二等辺三角形に分けたときの直角三角形の底辺と高さは左図の通りとなり、正方形の面積は次の通りとなる

$$10 \times 5 \div 2 \times 2 = 50$$

(直径10cmの円の面積から、円内の正方形の面積を引いて色のついた部分の面積を求める)

$$78.5 - 50 = 28.5$$

(答え 28.5cm²)

解答例 2

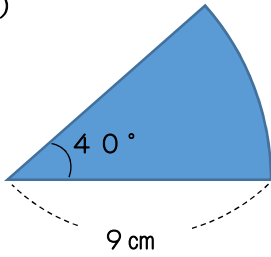
円内の正方形をひし形と考え、ひし形の面積を求める公式を当てはめて、面積を求める。

$$10 \times 10 \div 2 = 50$$

以下、別解1と同じ

1 おうぎ形の面積を求めなさい。

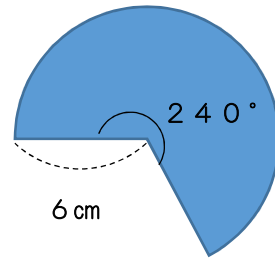
(1)



$$\begin{aligned} \langle \text{式} \rangle & 9 \times 9 \times 3.14 = 254.34 \\ & 254.34 \times \frac{40}{360} = 28.26 \end{aligned}$$

〈答え〉 28.26 cm²

(2)

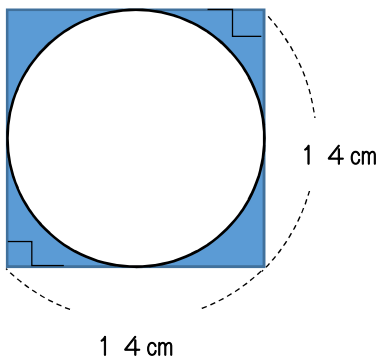


$$\begin{aligned} \langle \text{式} \rangle & 6 \times 6 \times 3.14 = 113.04 \\ & 113.04 \times \frac{240}{360} = 75.36 \end{aligned}$$

〈答え〉 75.36 cm²

2 下の図形の色のついた部分の面積を求めなさい。

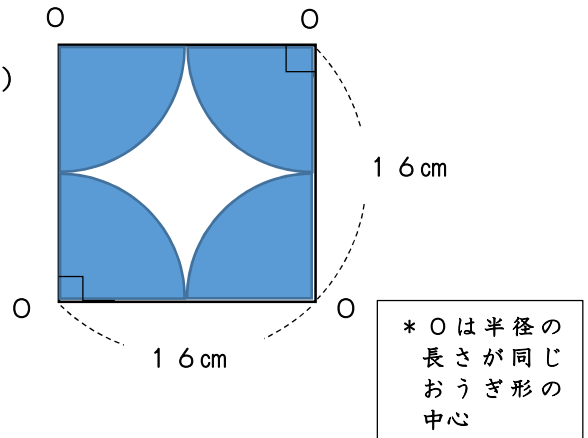
(1)



$$\begin{aligned} \langle \text{式} \rangle & 14 \times 14 - 7 \times 7 \times 3.14 \\ & = 196 - 153.86 \\ & = 42.14 \end{aligned}$$

〈答え〉 42.14 cm²

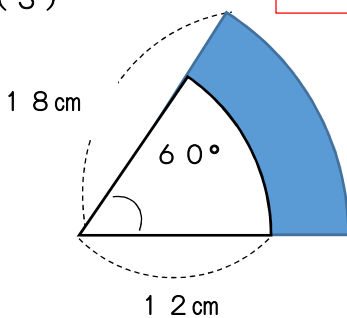
(2)



$$\langle \text{式} \rangle 8 \times 8 \times 3.14 = 200.96$$

〈答え〉 200.96 cm²

(3)



正方形の面積から円の面積をひく

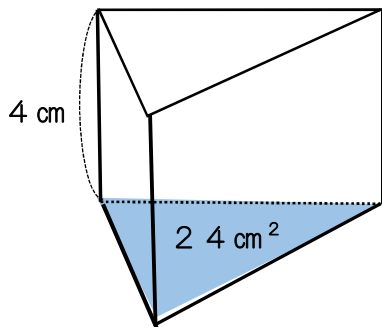
4つのおうぎ形を合わせると1つの円になる

$$\begin{aligned} \langle \text{式} \rangle & 18 \times 18 \times 3.14 \times \frac{1}{6} = 169.56 \\ & 12 \times 12 \times 3.14 \times \frac{1}{6} = 75.36 \\ & 169.56 - 75.36 = 94.2 \end{aligned}$$

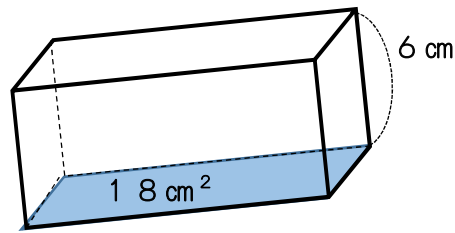
半径18 cmのおうぎ形の面積から、半径12 cmのおうぎ形の面積をひく

〈答え〉 94.2 cm²

1 下の角柱の体積を求めましょう。



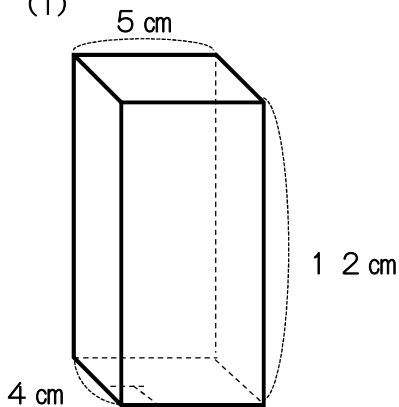
(式 $24 \times 4 = 96$)
 (答え 96 cm^3)



(式 $18 \times 6 = 108$)
 (答え 108 cm^3)

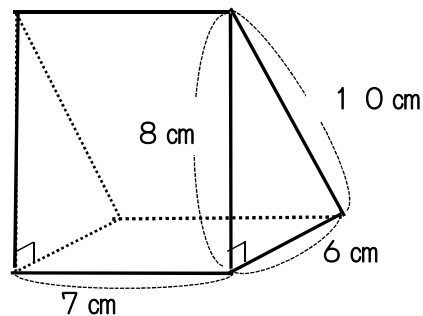
2 下の角柱の体積を求めましょう。

(1)



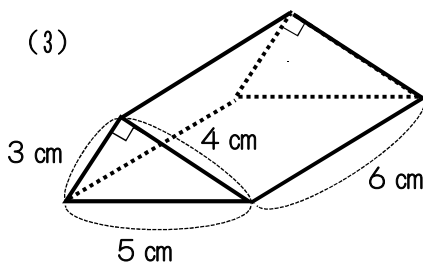
(式 $4 \times 5 \times 12 = 240$)
 (答え 240 cm^3)

(2)



(式 $6 \times 8 \div 2 \times 7 = 168$)
 (答え 168 cm^3)

(3)



(式 $3 \times 4 \div 2 \times 6 = 36$)
 (答え 36 cm^3)

3 次の角柱の底面積や高さを求めましょう。

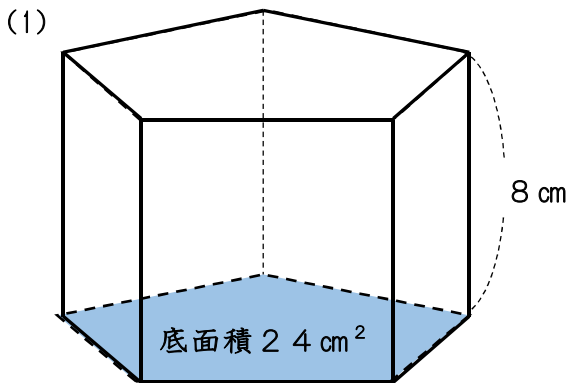
(1) 体積が 36 cm^3 で、高さが 4 cm の三角柱の底面積 (答え 9 cm^2)

* 底面積 \times 高さ = 体積なので、底面積 = 体積 \div 高さ ($36 \div 4 = 9$)

(2) 体積が 144 cm^3 で、底面積が 24 cm^2 の五角柱の高さ (答え 6 cm)

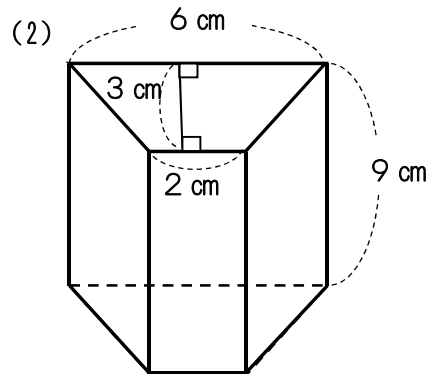
* 底面積 \times 高さ = 体積なので、高さ = 体積 \div 底面積 ($144 \div 24 = 6$)

1 下の角柱の体積を求めましょう。



(式 $24 \times 8 = 192$)

(答え 192 cm^3)

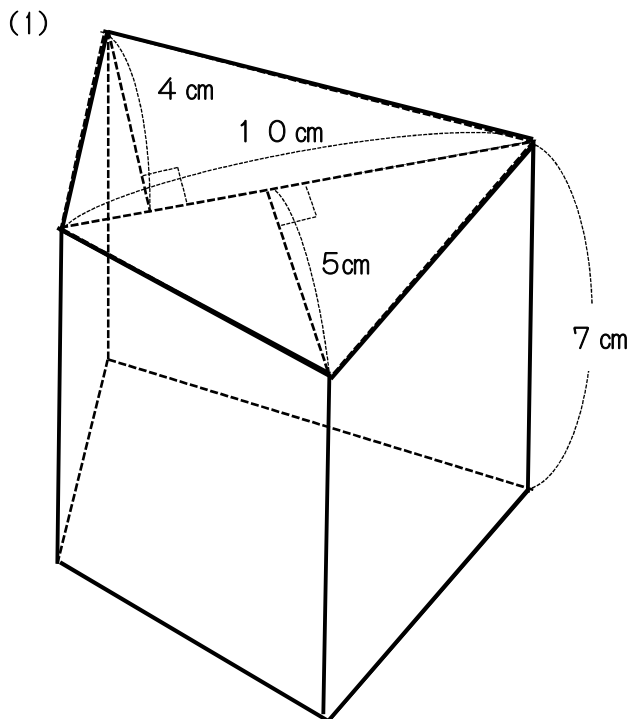


(式 $(2 + 6) \times 3 \div 2 \times 9 = 108$)

底面は台形

(答え 108 cm^3)

2 次の立体の体積を求めましょう。

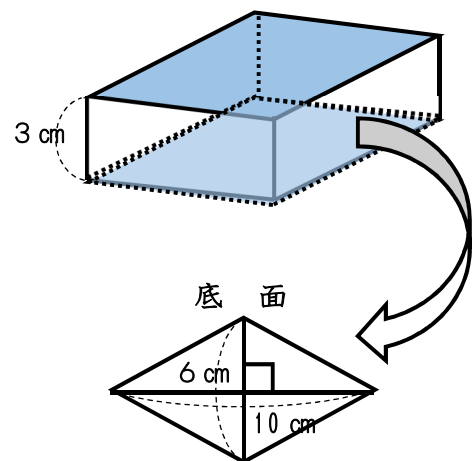


(式 $(10 \times 4 \div 2 + 10 \times 5 \div 2) \times 7$
 $= 45 \times 7 = 315$)

(答え 315 cm^3)

底面は、2つの三角形を合わせた図形

(2) 下のような底面がひし形の角柱があります。体積を求めましょう。

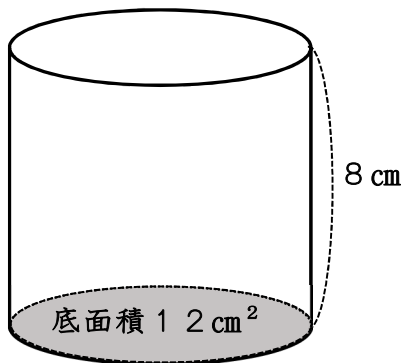


(式 $10 \times 6 \div 2 \times 3 = 90$)

(答え 90 cm^3)

1 下の円柱の体積を求めましょう。

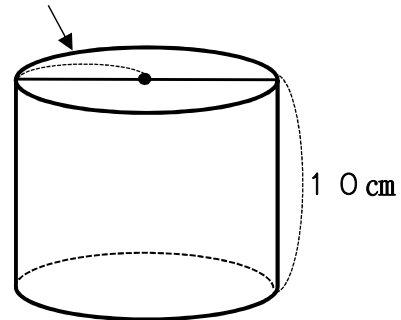
(1)



(式 $12 \times 8 = 96$)

(答え 96 cm^3)

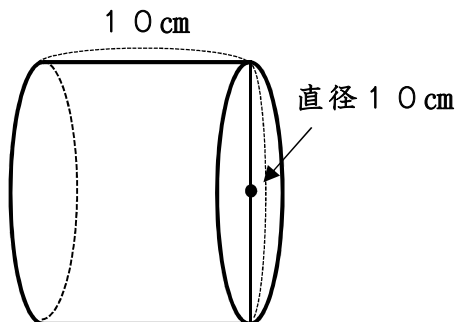
(2) 半径 4 cm



(式 $4 \times 4 \times 3.14 \times 10 = 502.4$)

(答え 502.4 cm^3)

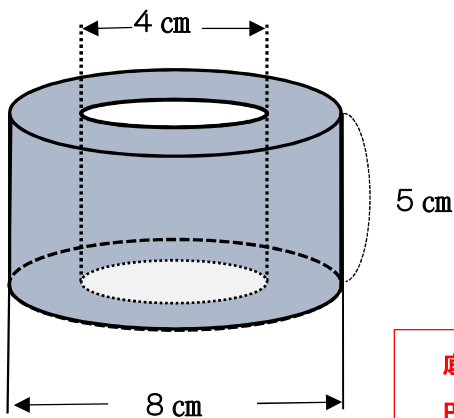
2 下の円柱の体積を求めましょう。



(式 $5 \times 5 \times 3.14 \times 10 = 785$)

(答え 785 cm^3)

3 下のような立体の体積を求めましょう。



(式 $(4 \times 4 \times 3.14 - 2 \times 2 \times 3.14) \times 5$

$= (50.24 - 12.56) \times 5$

$= 37.68 \times 5$

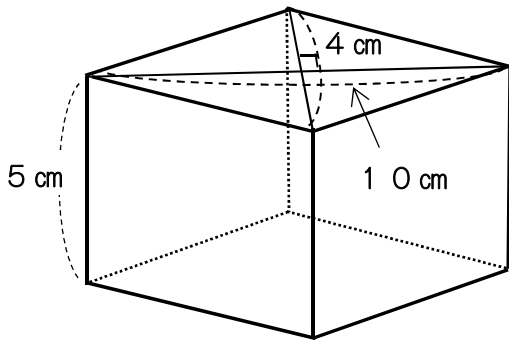
$= 188.4$)

底面積は大きい円から小さい円をひいて求めます。

(答え 188.4 cm^3)

1 下の角柱の体積を求めましょう。

(1)



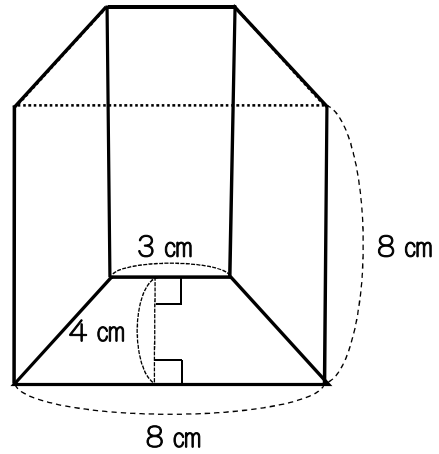
(底面はひし形)

(式 $10 \times 4 \div 2 \times 5 = 100$)

(答え 100 cm^3)

ひし形の面積を求める公式を適用

(2)



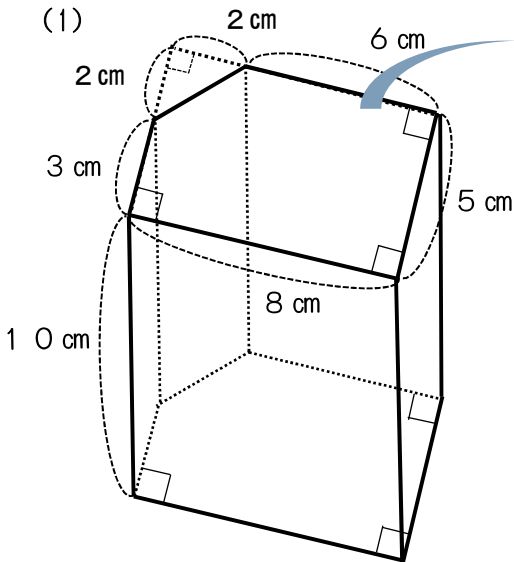
(式 $(3 + 8) \times 4 \div 2 \times 8 = 176$)

(答え 176 cm^3)

底面は台形なので、台形の面積を求める公式を適用

2 次の立体の体積を求めましょう。

(1)



(式 $5 \times 8 - 2 \times 2 \div 2 = 38$

$38 \times 10 = 380$)

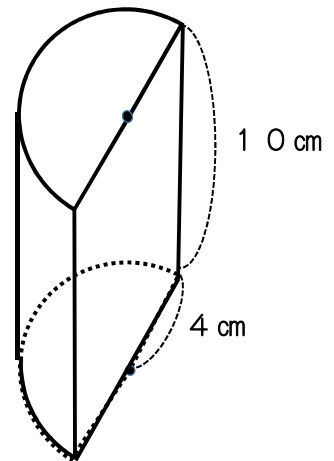
(答え 380 cm^3)

底面は、長方形の一部が欠けた形になっているので、長方形の面積から、欠けている直角二等辺三角形の面積を引いて底面積を求める。

または、底面を長方形と台形に分けて、底面積を求めることもできる。

底面を長方形と台形に分けて・・・
 $5 \times 6 = 30$ 、 $(3 + 5) \times 2 \div 2 = 8$ 、 $30 + 8 = 38$
 $38 \times 10 = 380$ (答え 380 cm^3)

(2)

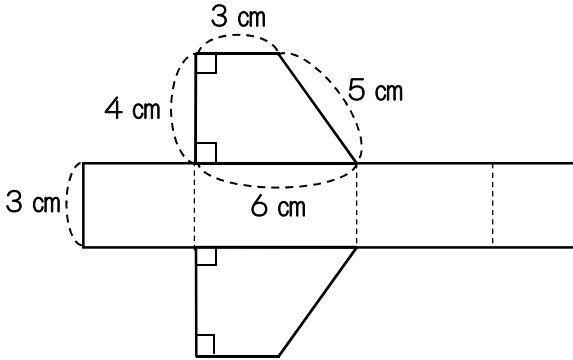


(式 $4 \times 4 \times 3.14 \div 2 \times 10 = 251.2$)

(答え 251.2 cm^3)

1 次の図は角柱や円柱の展開図です。組み立てたときの体積を求めなさい。

(1)

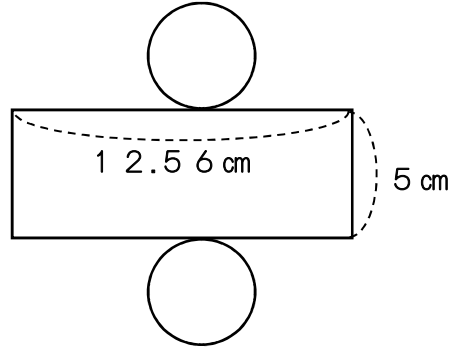


(式 $(3 + 6) \times 4 \div 2 \times 3 = 54$)

(答え 54 cm^3)

底面は台形であり、底面積は台形の面積を求める公式を適用する。角柱の高さは3 cmである。

(2)



(式 $12.56 \div 3.14 \div 2 = 2$)

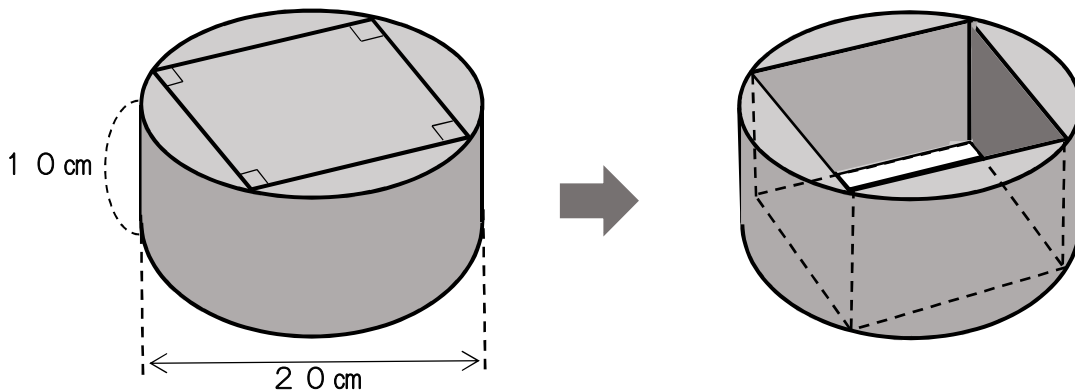
$2 \times 2 \times 3.14 \times 5 = 62.8$)

答え (62.8 cm^3)

円周=直径×3.14なので、底面である円の半径は、円周÷3.14÷2で求められる。12.56 cmは底面の円周の長さでもある。

2 直径が20 cmで、高さが10 cmの円柱の形をした材木から、底面が正方形の四角柱を次の図のように切り出します。

切り出したあとに残った部分の体積は何 cm^3 でしょうか。



(式 $10 \times 10 \times 3.14 \times 10 = 3140$
 $20 \times 20 \div 2 \times 10 = 2000$
 $3140 - 2000 = 1140$)

(答え 1140 cm^3)

切り出す四角柱の底面は正方形であり、底面積を求めるには、ひし形の面積を求める公式(対角線×対角線÷2)を適用する

1 コーヒーを5Lと牛乳^{ぎゅうにゅう}を3Lまぜて、コーヒー牛乳を作ります。

次の問題をときましょう。

(1) コーヒーの量を5とみると、牛乳の量はいくつとみることができますか。
(3)

(2) コーヒーと牛乳の量の割合^{わりあい}を比で表しなさい。
(5 : 3)

(3) コーヒーの量は、牛乳の量の何倍になっているかを分数で表しなさい。
($\frac{5}{3}$)

(4) (3) で求めた数のことを何といいますか。
(比の値)

2 次の比の、比の値を求めましょう。比の値が約分できるときは、約分しましょう。

(1) $3 : 7$ ($\frac{3}{7}$) (2) $5 : 8$ ($\frac{5}{8}$) (3) $6 : 7$ ($\frac{6}{7}$)

(4) $20 : 15$ ($\frac{4}{3}$) (5) $14 : 21$ ($\frac{2}{3}$) (6) $3 : 15$ ($\frac{1}{5}$)

3 比の値を求めて、等しい比を見つけましょう。

① $4 : 8$ ($\frac{1}{2}$) ② $2 : 6$ ($\frac{1}{3}$) ③ $10 : 8$ ($\frac{5}{4}$)

④ $3 : 9$ ($\frac{1}{3}$) ⑤ $5 : 4$ ($\frac{5}{4}$) ⑥ $25 : 50$ ($\frac{1}{2}$)

◎ 等しい比 (①と⑥) (②と④) (③と⑤)

4 次の比の、両方に同じ数の3をかけて、等しい比をつくりましょう。

$$1 : 2 = (3 : 6)$$

5 次の比の、両方を同じ数6で割り、等しい比をつくりましょう。

$$6 : 12 = (1 : 2)$$

6 $4 : 6$ と等しい比を、3つつくりましょう。

(2 : 3) (6 : 9) (8 : 12) (10 : 15) (12 : 18) (14 : 21) … など

1 次の割合を比で表しましょう。また、そのときの比の値を求めましょう。

(1) 料理をするのに、みりんを大きじ3ばい、しょうゆを大きじ5はい使ったときの、みりんとしょうゆの量の割合

比 (3 : 5) 比の値 ($\frac{3}{5}$)

(2) たての長さが7cm、横の長さが6cmの長方形の、たての長さ^と横の長さの割合

比 (7 : 6) 比の値 ($\frac{7}{6}$)

2 次の比の値を求めましょう。比の値が約分できるときは、約分しましょう。

(1) 5 : 8 ($\frac{5}{8}$) (2) 2 : 7 ($\frac{2}{7}$) (3) 4 : 9 ($\frac{4}{9}$)

(4) 20 : 60 ($\frac{1}{3}$) (5) 21 : 14 ($\frac{3}{2}$) (6) 15 : 6 ($\frac{5}{2}$)

3 次の比の値を求めて、等しい比を見つけましょう。

ア 3 : 9 ($\frac{1}{3}$) イ 2 : 8 ($\frac{1}{4}$) ウ 8 : 20 ($\frac{2}{5}$)

エ 3 : 12 ($\frac{1}{4}$) オ 6 : 15 ($\frac{2}{5}$) カ 8 : 24 ($\frac{1}{3}$)

等しい比 (ア と カ) (イ と エ) (ウ と オ)

4 次の比を^{かんたん}簡単にしましょう。

(1) 4 : 12 (1 : 3) (2) 0.4 : 0.7 (4 : 7)

(3) 1.8 : 2.7 (2 : 3) (4) 1.5 : 2 (3 : 4)

(5) 3.2 : 4 (4 : 5) (6) $\frac{7}{9}$: $\frac{2}{9}$ (7 : 2)

(7) $\frac{3}{4}$: $\frac{7}{8}$ (6 : 7) (8) $\frac{2}{5}$: $\frac{2}{3}$ (3 : 5)

1 次の比を簡単にしましょう。

(1) $6 : 9$ ($2 : 3$) (2) $16 : 8$ ($2 : 1$)

(3) $15 : 20$ ($3 : 4$) (4) $4 : 14$ ($2 : 7$)

(5) $48 : 60$ ($4 : 5$) (6) $200 : 300$ ($2 : 3$)

2 次の比を簡単にしましょう。

(1) $0.6 : 1.2$ ($1 : 2$) (2) $1.5 : 0.5$ ($3 : 1$)

(3) $1.2 : 3$ ($2 : 5$) (4) $3 : 4.2$ ($5 : 7$)

(5) $0.21 : 0.28$ ($3 : 4$) (6) $\frac{3}{4} : \frac{7}{12}$ ($9 : 7$)

(7) $\frac{1}{6} : \frac{2}{9}$ ($3 : 4$) (8) $\frac{2}{5} : 2$ ($1 : 5$)

3 次の割合を簡単な整数の比で表しましょう。

(1) 赤いリボンが24m, 青いリボンが16mあるときの赤いリボンの長さ
と青いリボンの長さの割合

($3 : 2$)

(2) たての長さが7cmで面積が 35cm^2 の長方形のたての長さ
と横の長さの割合

($7 : 5$)

4 さくらさんたち3人は、それぞれ下の表のように、すとサラダ油を混ぜて
ドレッシングを作りました。

だれとだれのドレッシングが、
同じ味になるといえるでしょうか。

	す	サラダ油
さくら	20mL	50mL
みゆき	大さじ8はい	大さじ22はい
けいた	スプーン4はい	スプーン10はい

(さくらとけいた)

*それぞれのすとサラダ油の割合を比で表すと・・・

さくら $2 : 5$

みゆき $4 : 11$

けいた $2 : 5$

1 画用紙に、たてと横の長さの比が5 : 9の長方形を書きます。たての長さを20 cmにすると、横の長さは何cmになるかを求めます。次の問いに答えましょう。

(1) 横の長さを x cmとして、式に表しましょう。

$$\text{たての長さ} : \text{横の長さ} = 5 : 9 = (20 : x)$$

(2) 横の長さを求めましょう。

$$(\text{横の長さ } 36 \text{ cm})$$

2 x にあてはまる数を求めましょう。

$$(1) 7 : 2 = x : 8 \quad (x = 28)$$

$$(2) 12 : 30 = 2 : x \quad (x = 5)$$

3 ^{さとう}砂糖と小麦粉の重さの比を2 : 5にしてケーキをつくります。

小麦粉を200gにすると、砂糖は何gありますか。

$$(2 : 5 = x : 200) \quad (80g)$$

4 黄色と青色のペンキを、体積の比が4 : 5になるように混ぜ合わせて、緑色のペンキをつくります。

黄色のペンキを16 L使うとすると、青色のペンキは何L使うことになるでしょう。

$$(4 : 5 = 16 : x) \quad (20L)$$

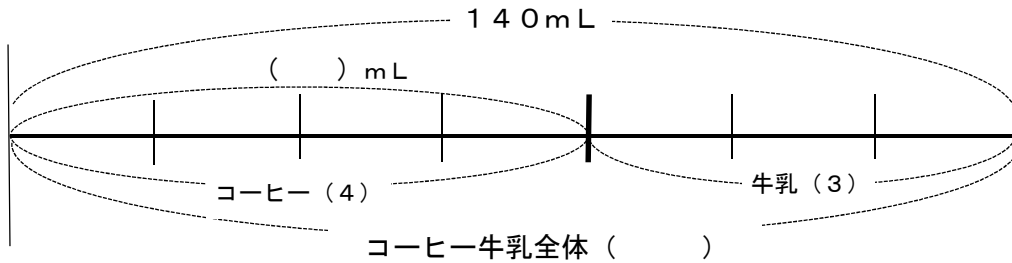
5 マリンパークの、ある日の入館者数は、男の人と女の人の人数の比が5 : 6で、女の方は270人だったそうです。

男の方は何人だったでしょう。

$$5 : 6 = x : 270$$

$$x = 270 \times \frac{5}{6} \quad (225人)$$

- 1 コーヒーと牛乳をまぜてコーヒー牛乳を140mLつくります。
 コーヒーと牛乳を4：3の割合でまぜるときコーヒーの量は何mL必要ですか。
 下の線分図を見て、次の問いに答えましょう。

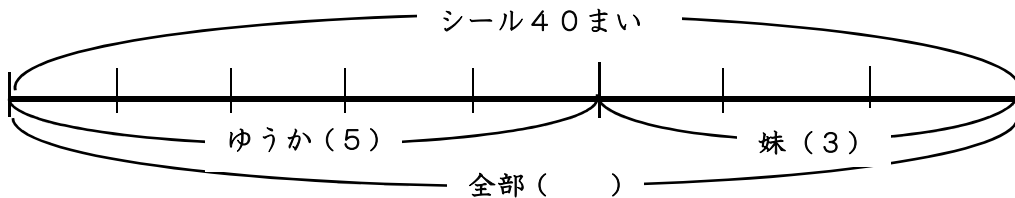


- (1) コーヒーの量を4，牛乳の量を3とみると，コーヒー牛乳全体の量はいくつとみることができますか。 (7)
- (2) コーヒーの量は，コーヒー牛乳全体の量の，何分のいくつにあたりますか。 ($\frac{4}{7}$)
- (3) コーヒーの量とコーヒー牛乳全体の量の比を書きましょう。
 (コーヒーの量：コーヒー牛乳全体の量 = 4：7)
- (4) コーヒーの量を x mL，コーヒー牛乳全体の量を140mLとして， x を使った比を書きましょう。
 (コーヒーの量：コーヒー牛乳全体の量 = 4：7 = x ：140)
- (5) コーヒーの量 (x の値) を求めましょう。

$$x = 140 \times \frac{4}{7} = 80$$

(コーヒーの量 80 mL)

- 2 シール40まいをゆうかさんと妹で分けます。
 ゆうかさんと妹のまい数の比が5：3になるようにすると，妹のまい数は何枚になるかを求めます。下の線分図を見て，次の問いに答えましょう。



- (1) ゆうかさんのまい数を5，妹のまい数を3とみると，全部のまい数の40まいは，いくつとみられるでしょう。

$$40 \times \frac{3}{8} = 15$$

(8)

- (2) 妹のまい数は何まいになるでしょう。

(15まい)

1 x にあてはまる数を求めましょう。

- (1) $3 : 4 = x : 36$ ($x = 27$)
 (2) $7 : 5 = 21 : x$ ($x = 15$)
 (3) $18 : 42 = 3 : x$ ($x = 7$)

2 画用紙に、たてと横の長さの比が $3 : 4$ になるように長方形を書きます。
 横の長さを 24 cm にすると、たての長さは何 cm になりますか。

(18 cm)

$3 : 4 = x : 24 \quad x = 24 \times \frac{3}{4} = 18$

3 あるクラスの人気数は、 33 人です。男子の人数と女子の人数の比は $5 : 6$ になっています。男子と女子の人数は、それぞれ何人でしょう。

男子を x 人 とすると $5 : 11 = x : 33$

男子	$33 \times \frac{5}{11} = 15$
女子	$33 - 15 = 18$

(男子 15 人) (女子 18 人)

4 ある日の昼の長さや夜の長さの比は、 $7 : 5$ になっていました。
 昼と夜の長さは、それぞれ何時間だったでしょう。

昼の長さを x とすると

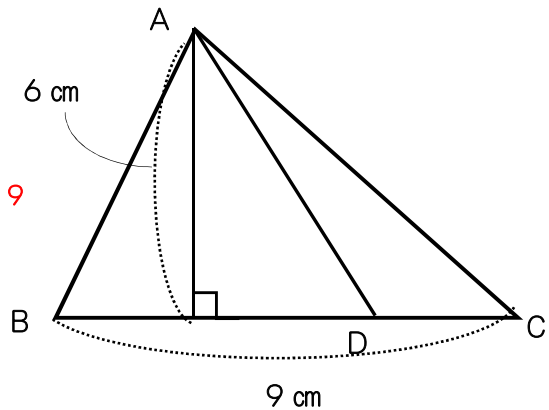
昼	$24 \times \frac{7}{12} = 14$
夜	$24 - 14 = 10$

(昼 14 時間 夜 10 時間)

5 右の図の三角形 ABC について、辺 BC を $BD : DC = 2 : 1$ になるように分ける点 D をかきました。

(1) 辺 BD と辺 DC の長さはそれぞれ何 cm ですか。 * BD の長さを x とすると $2 : 3 = x : 9$

(BD 6 cm DC 3 cm)



(2) 三角形 ABD と三角形 ADC の面積をそれぞれ求め、面積の比を求めましょう。

(三角形 ABD の面積 18 cm^2 三角形 ADC の面積 9 cm^2)

* $18 : 9$
 ($2 : 1$)

- 1 Sサイズのカップに200 mLのジュースが入っています。SサイズとLサイズのカップに入っているジュースの体積比は5 : 7です。

Lサイズのカップに入っているジュースは何mLですか。

$$\langle \text{式} \rangle \quad 200 \times \frac{7}{5} = 280$$

Lサイズのジュースの体積を x としたら、
体積比は $5 : 7 = 200 : x$

〈答え〉 280 mL

- 2 縦と横の長さの比が7 : 10の畑を作ります。縦の長さを21 mにすると、横の長さは何mになりますか。

$$\langle \text{式} \rangle \quad 21 \times \frac{10}{7} = 30$$

横の長さを x としたら、 $7 : 10 = 21 : x$

〈答え〉 30 m

- 3 りんごジャムを作るのに、りんごと砂糖を重さの比が4 : 3になるように用意します。500 gのりんごを使うとき、何gの砂糖が必要ですか。

$$\langle \text{式} \rangle \quad 500 \times \frac{3}{4} = 375$$

砂糖の重さを x としたら、 $4 : 3 = 500 : x$

〈答え〉 375 g

- 4 電車で56人の乗客が乗っています。立っている人と座っている人の人数の比は2 : 5です。立っている人は何人ですか。

$$\langle \text{式} \rangle \quad 56 \times \frac{2}{7} = 16$$

立っている人と座っている人の人数比は2 : 5なので、
全体は7とみることができる。立っている人の比は2な
ので、56人の7分の2が立っている人と考えられる。

〈答え〉 16人

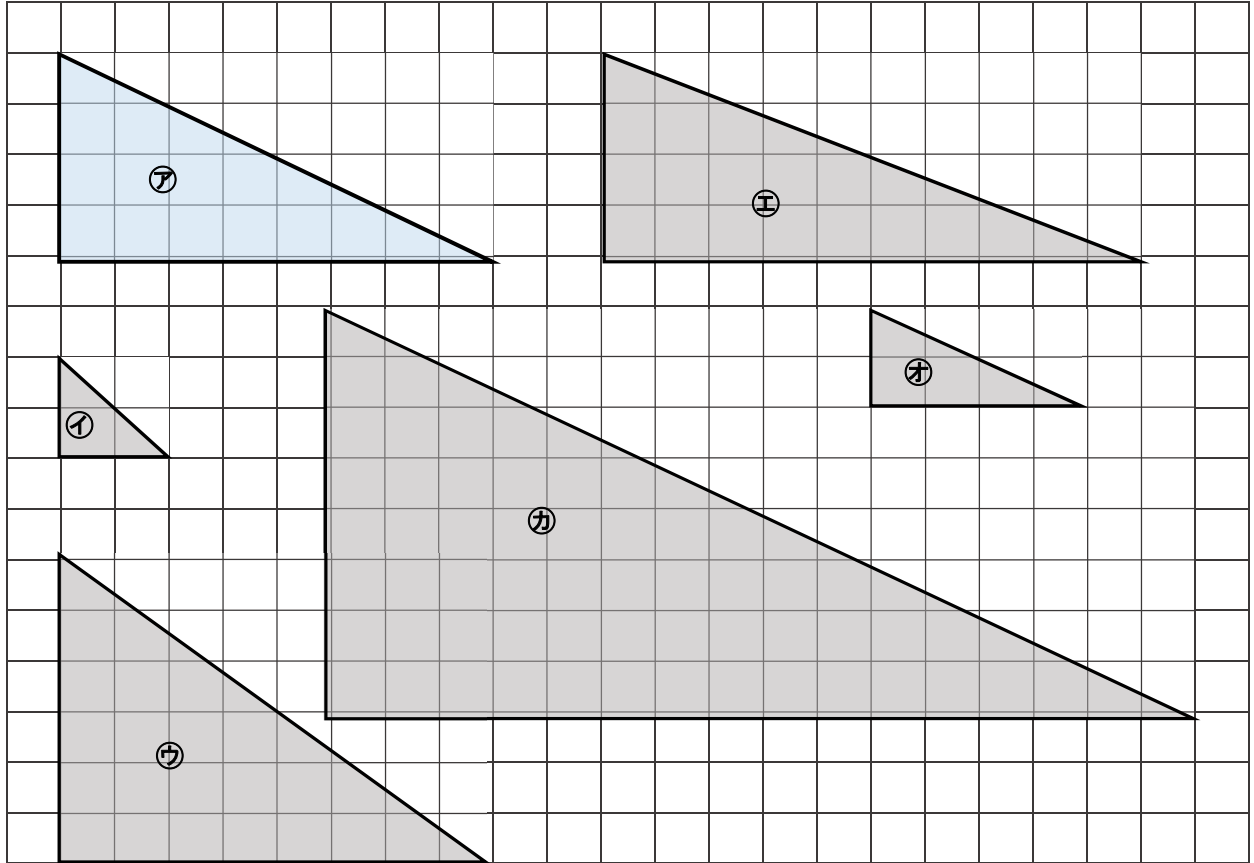
- 5 たかしさんの小学校の児童数は675人で、男子と女子の人数の比は7 : 8です。女子の人数は何人ですか。

$$\langle \text{式} \rangle \quad 675 \times \frac{8}{15} = 360$$

男子と女子の人数比は7 : 8なので、全体は15とみること
ができる。女子の比は8なので、児童数の15分の8が
女子と考えることができる。

〈答え〉 360人

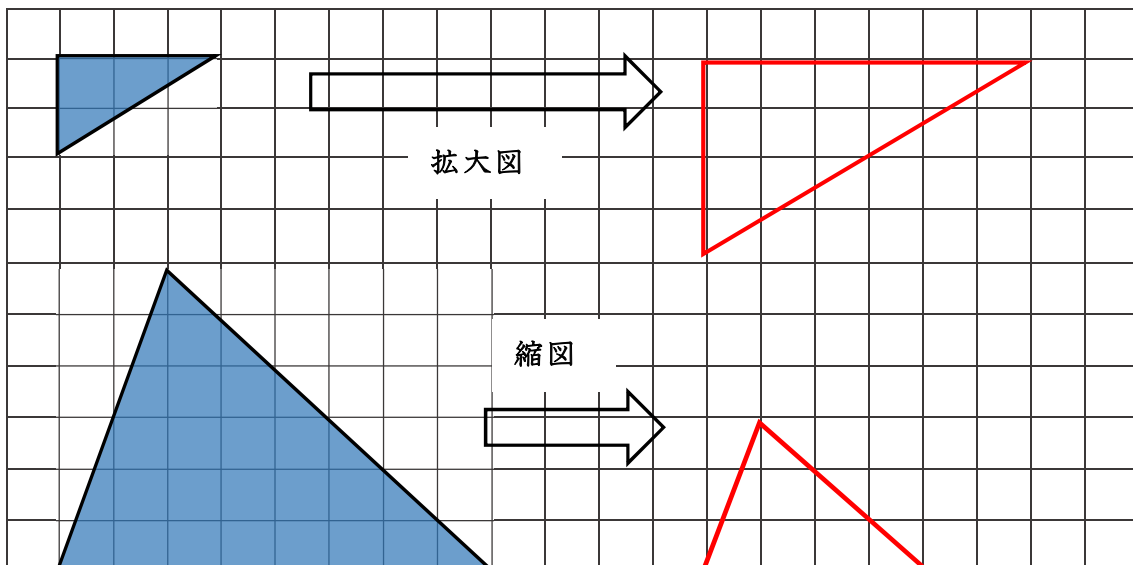
1 下の図で、㉑の拡大図，縮図になっているのはどれですか。
また，それは何倍の拡大図，何分の一の縮図ですか。



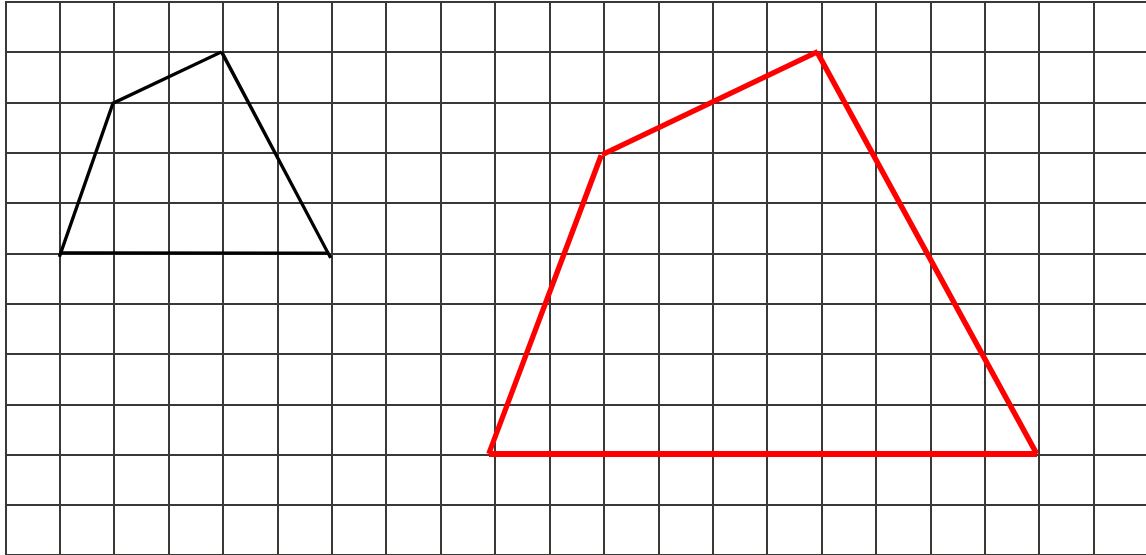
拡大図 (㉔ 2倍)

縮図 (㉓ $\frac{1}{2}$)

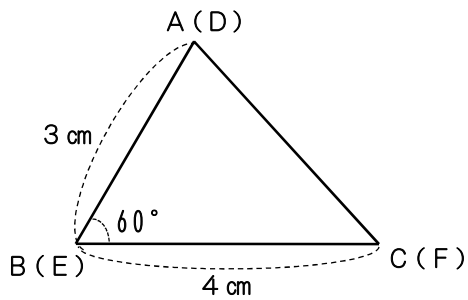
2 方眼を利用して，下のそれぞれの三角形の2倍の拡大図と $\frac{1}{2}$ の縮図をかきましょう。



1 下の四角形の2倍の拡大図をかきましょう。



2 下の三角形ABCを2倍に拡大した、三角形DEFのかき方を考えます。



(1) 辺ABに対応する辺DEの長さを何cmにすればよいですか。

(6 cm)

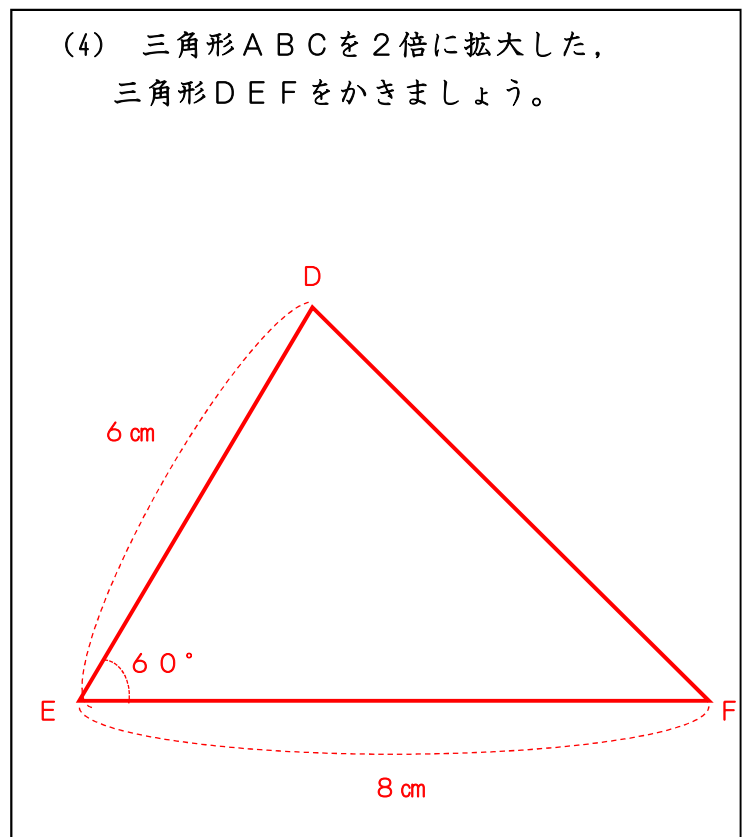
(2) 辺BCに対応する辺EFの長さを何cmにすればよいですか。

(8 cm)

(3) 角Bに対応する角Eの大きさを何度にするればよいですか。

(60°)

(4) 三角形ABCを2倍に拡大した、三角形DEFをかきましょう。



1 次の三角形DEFは、三角形ABCの縮図です。

(1) 何分の一の縮図になっているでしょう。

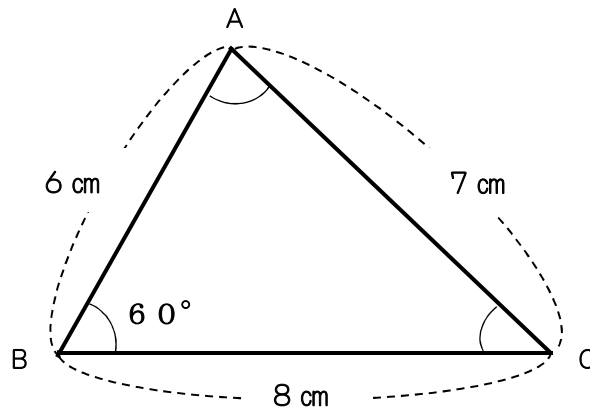
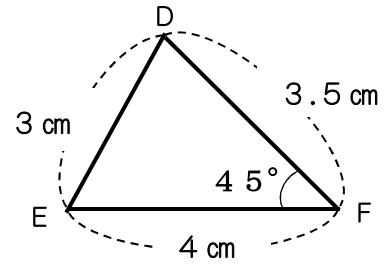
($\frac{1}{2}$)

(2) 角Cと角Aの大きさを求めましょう。

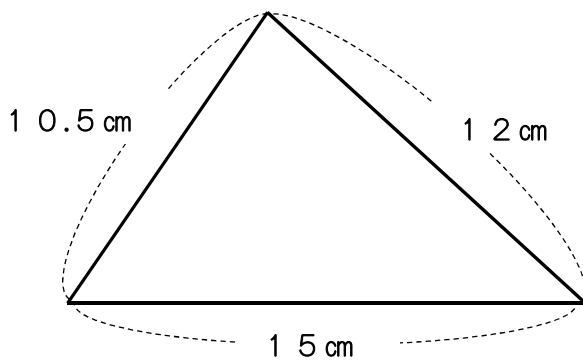
(分度器を使わずに)

(角C 45°)

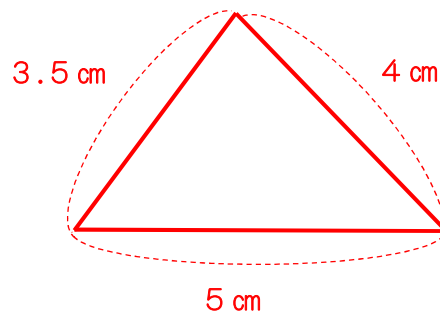
(角A 75°)



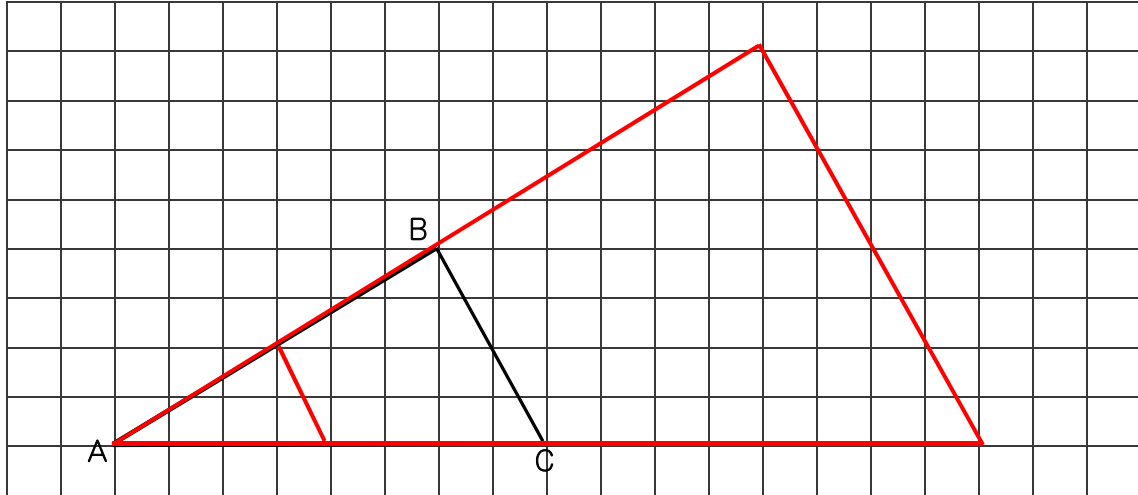
2 下の三角形の $\frac{1}{3}$ の縮図を の中にかきましょう。



☆ 誤差は ± 2 mm以下

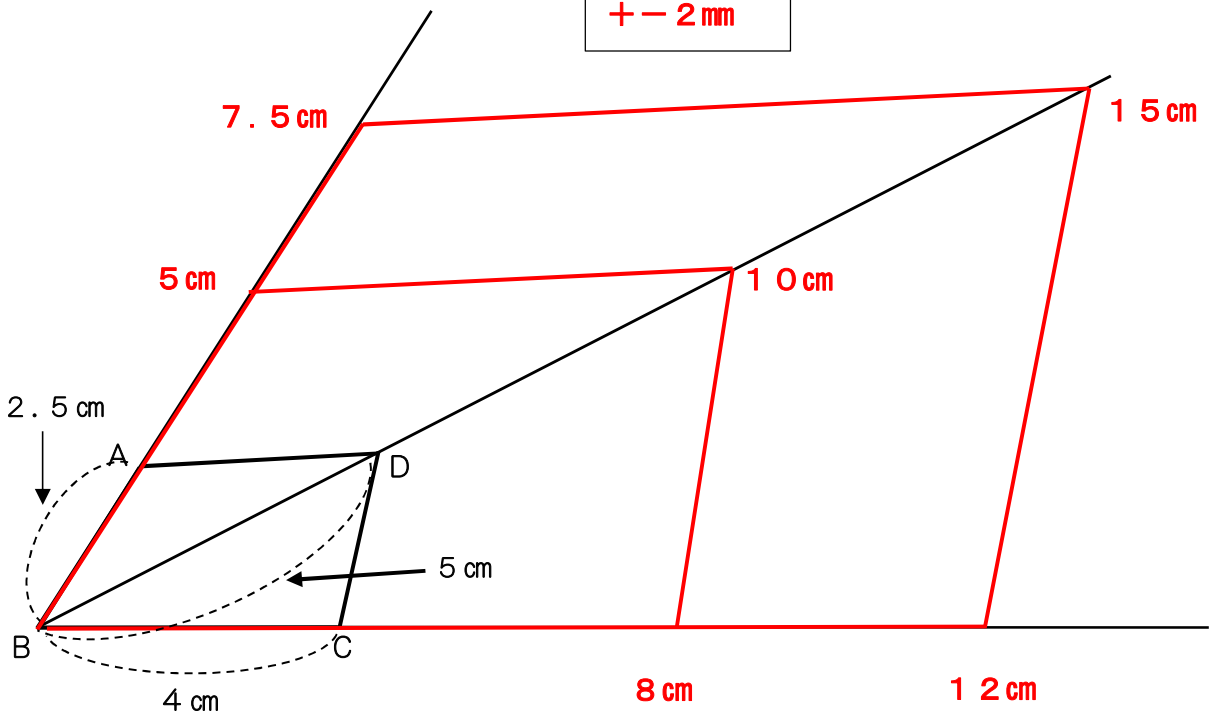


- 1 下の三角形ABCの頂点Aを中心にした2倍の拡大図と $\frac{1}{2}$ の縮図をかきましょう。



- 2 下の四角形(ABCD)で、Bを中心にした2倍と3倍の拡大図をかきましょう。

誤差
± 2 mm



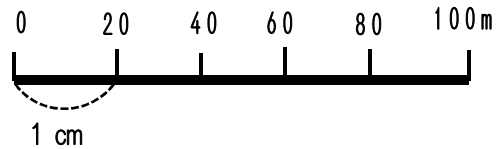
◎ 実際の長さを縮めた割合のことを縮尺ちぢといいます。

縮尺には、次のような表し方があります。

① $\frac{1}{2000}$

② 1 : 2000

③



上のように $\frac{1}{2000}$ の縮尺は、20 m (2000 cm) の長さを 1 cm に縮めて表すことです。

1 下の にあてはまる数を書いて、(1)~(3) の縮尺の問題に答えましょう。

(1) 4 m の長さを、縮尺 $\frac{1}{100}$ で表すと、何cm になるかを次のように計算しました。

$$4 \text{ m} = \boxed{400} \text{ cm} \quad \boxed{400} \div 100 = \boxed{4}$$

(答え 4 cm)

(2) 900 m を 3 cm に縮めて表しました。この縮尺を分数で表しましょう。

$$900 \text{ m} = 90000 \text{ cm}$$

$$3 \div \boxed{90000} = \frac{3}{\boxed{90000}} = \frac{1}{\boxed{30000}}$$

(答え $\frac{1}{30000}$)

(3) 3 km を 3 cm に縮めて表しました。この縮尺を分数で表しましょう。

$$3 \text{ km} = \boxed{3000} \text{ m} = \boxed{300000} \text{ cm}$$

$$3 \div \boxed{300000} = \frac{3}{\boxed{300000}} = \frac{1}{\boxed{100000}}$$

(答え $\frac{1}{100000}$)

1 にあてはまる数をかきましょう。

$$7 \times 1000 = 7000 \text{ cm}$$

$$7000 \text{ cm} = 70 \text{ m}$$

(1) $\frac{1}{1000}$ の縮図上に7 cmで表されている長さは、実際には、 mです。

(2) 実際の長さ600 mが、6 cmの長さで表されている地図の縮尺は、

1 : です。

$$600 \text{ m} = 60000 \text{ cm}$$

$$6 \div 60000 = \frac{6}{60000} = \frac{1}{10000}$$

(3) 実際の長さ8 kmは、 $\frac{1}{20000}$ の縮尺の地図上では、 cmで表されます。

$$8 \text{ km} = 80000 \text{ cm}$$

$$80000 \times \frac{1}{20000} = 40 \text{ (cm)}$$

2 右の図のような木の高さを求める方法を考えました。

直接、木の高さをはかることができないので、木のかげの長さをはかったところ、木のかげの長さは12 mでした。

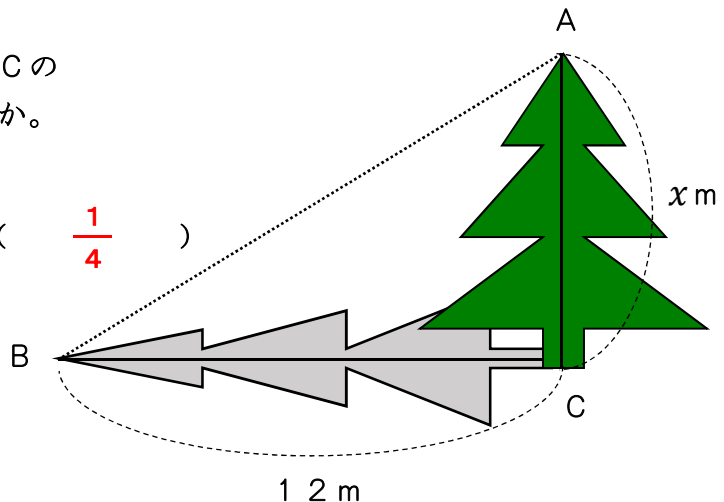
同じ日の同じ時こくに、2 mのぼうのかげの長さは3 mでした。

(1) 三角形DEFは、三角形ABCの何分の一の縮図になっていますか。

BCの長さ12 m, EFの長さ3 mなので、

$$3 \div 12 = \frac{3}{12} = \frac{1}{4}$$

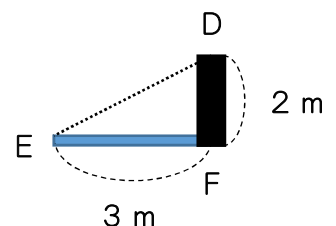
()



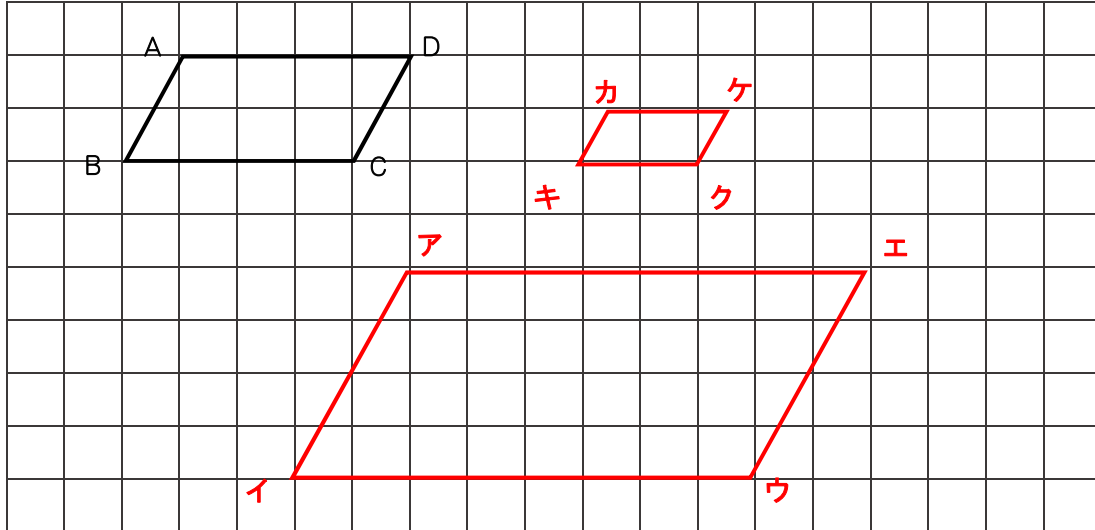
(2) 木の実際の高さは、何mでしょう。

$$x \times \frac{1}{4} = 2 \quad x = 8$$

()



- 1 下の平行四辺形A B C Dを2倍に拡大した平行四辺形アイウエをかきましょう。
 また、 $\frac{1}{2}$ に縮めた平行四辺形カキクケをかきましょう。

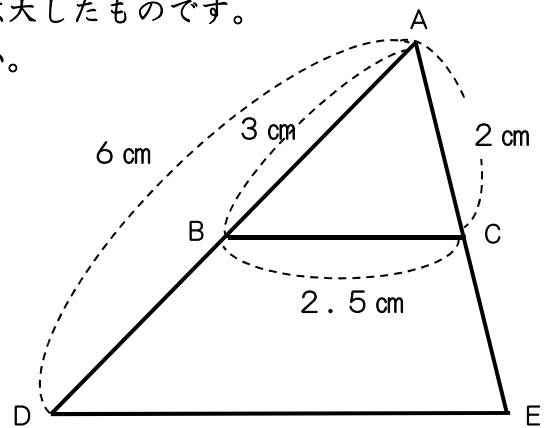


- 2 右の図の三角形A D Eは、三角形A B Cを拡大したものです。
 辺A E、辺D Eの長さはそれぞれ何cmですか。

(辺 A E 4 cm)

(辺 D E 5 cm)

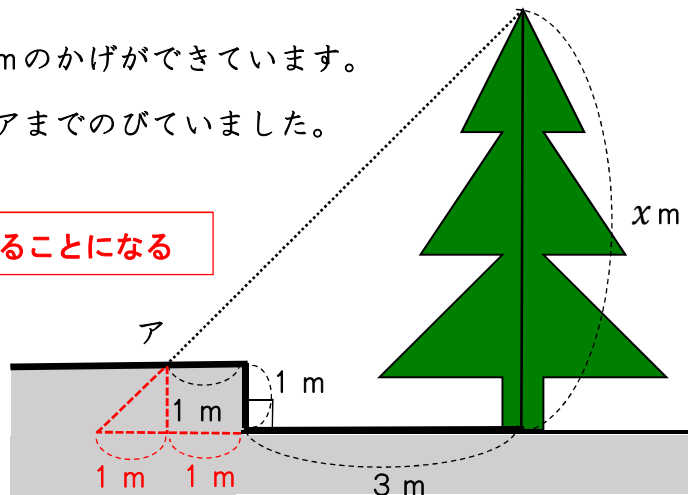
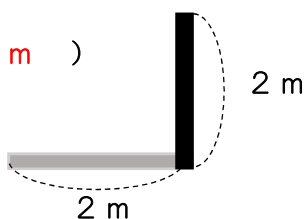
三角形A D Eは、三角形A B Cの
 2倍の拡大図になっている



- 3 ^{すいちよく}垂直に立てた2mの^{ぼう}棒に、長さ2mのかげができています。
 このとき、右の図の木のかがが、アまでのびていました。
 この木の高さは何mでしょう。

段差がなかったら、もう1mのびることになる

(5 m)



右の図はある工場の縮図です。アイの長さは6 cm, イウの長さは8 cmです。

- ①この縮図の縮尺しゆくしゃくを求めましょう。

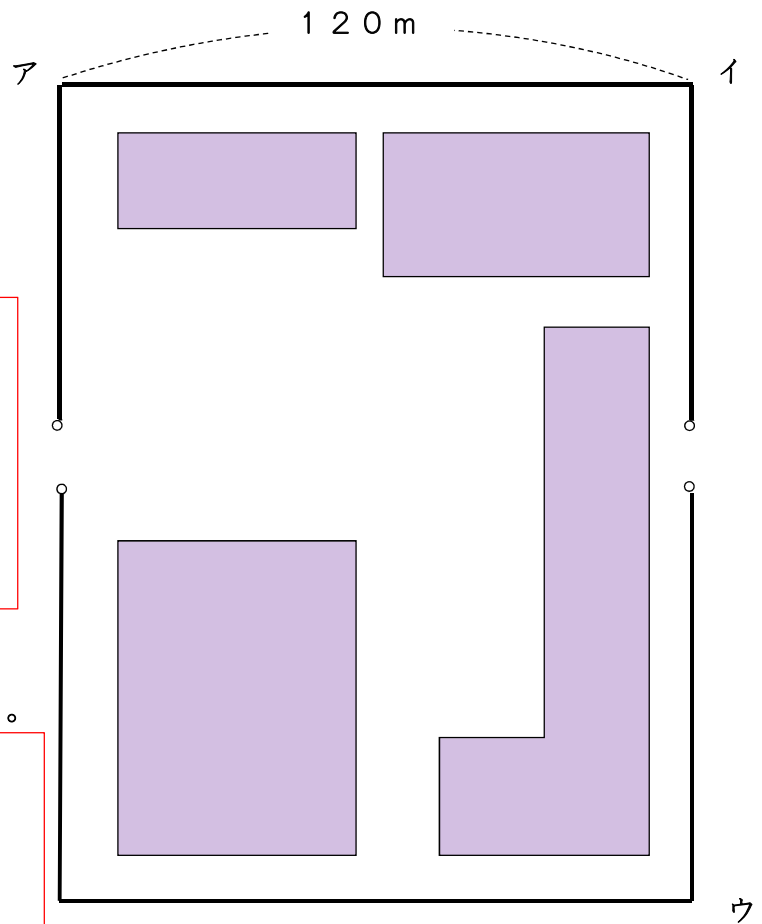
実際の長さ120 mが6 cmで表されているので、
 $6 \div 12000$ で求められる。

〈答え〉 $\frac{1}{2000}$

- ②縮図全体を長方形とみて、縮図の面積を求めましょう。

$8 \times 6 = 48$

〈答え〉 48 cm^2



- ③実際の長さを求めて、工場の面積を求めましょう。

イウの実際の長さは、 $8 \times 2000 = 16000$, $16000 \text{ cm} = 160 \text{ m}$
 $160 \times 120 = 19200$

〈答え〉 19200 m^2

- ④工場の面積は縮図の面積の何倍ですか。
 また、縮尺とどのような関係があるか、調べましょう。

$19200 \text{ m}^2 = 192000000 \text{ cm}^2$

$192000000 \div 48 = 4000000$ 〈答え〉 4000000倍

縮尺との関係は、縮尺の逆数を2回かけた数になる。(2000×2000)

1 1 mの重さが2 kgの針金があります。下の表は、針金の長さとうりとの関係を表したものです。

長さ x (m)	1	2	3	4	5	6	7	
重さ y (kg)	2	4	6	8	10	12	14	

2倍 ↓ 2倍 ↓ 3倍 ↓
 ↓ ↓ ↓
 2倍 ↑ (2)倍 ↑ (3)倍 ↑

(1) 針金の長さが2倍、3倍、...になると、それにとりなって針金の重さはどううに変わりますか。上の表の () の中にあう数字を書きましょう。

(2) 針金の重さ y kgの値を、長さ x mでわった商はいつも決まった数になっています。いくつですか。

(2)

(3) 針金の重さは針金の長さに比例していますか。 (比例している)

(4) y を x の式で表しましょう。 (式 $y = 2 \times x$)

(5) 上の表で長さが5 mと8 mと12 mのときの重さを $y = \text{決まった数} \times x$ の式から求めましょう。

① 長さが5 mのときの重さ (式 $2 \times 5 = 10$) (答え 10 m)

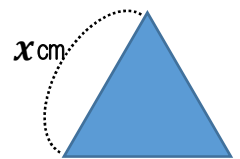
② 長さが8 mのときの重さ (式 $2 \times 8 = 16$) (答え 16 m)

③ 長さが12 mのときの重さ (式 $2 \times 12 = 24$) (答え 24 m)

2 正三角形の1辺の長さを x cm、まわりの長さを y cmとして、 x と y の関係を調べました。
<正三角形の1辺の長さとまわりの長さ>

1 辺の長さ x (cm)	1	2	3	4	5	6	
まわりの長さ y (cm)	3	6	9	12	15	18	

(1) 表のあいているところに、まわりの長さを書き入れましょう。



(2) y を x の式で表しましょう。

(式 $y = 3 \times x$)

1 下の表は立方体の形をした水そうに水を入れるときの、水を入れる時間と水の深さを表したものです。次の問題に答えましょう。

(1) 下の表の () の中にある数字を書きましょう。

時間	x (分)	1	2	3	4	5	6	
水の深さ	y (cm)	4	8	12	16	20	24	

$\frac{1}{4}$ 倍, $\frac{1}{3}$ 倍, $\frac{1}{2}$ 倍, $(\frac{1}{4})$ 倍, $(\frac{1}{2})$ 倍, $(\frac{1}{3})$ 倍

(2) 上の表のように y が x に比例しているとき、

x の値が $\frac{1}{2}$ 倍, $\frac{1}{3}$ 倍, $\frac{1}{4}$ 倍, ... になると、それにもなって

y の値も $(\frac{1}{2})$ 倍, $(\frac{1}{3})$ 倍, $(\frac{1}{4})$ 倍... になります。

2 下の表は、時速 40 km で走る自動車の、走る時間と道のりを表したものです。次の問題に答えましょう。

時間	x (時間)	1	2	3	4	5	6	
道のり	y (km)	40	80	120	160	200	240	

(1) 道のりは時間に比例していますか。 (比例している)

(2) x と y の関係を式に表しましょう。 (式 $y = 40 \times x$)

(3) この自動車が 7 時間で走る道のりは何 km ですか。 (280 km)

3 次の 2 つの量 x と y の関係を式に表し、 y が x に比例するものには ○ を、比例しないものには × をつけましょう。

(1) 船が時速 60 km で進むときの進んだ時間 x 時間と進んだ道のり y km
 (式 $y = 60 \times x$) (○)

(2) 1000 円で買い物をしたときの使った金額 x 円と残りの金額 y 円
 (式 $y = 1000 - x$) (×)

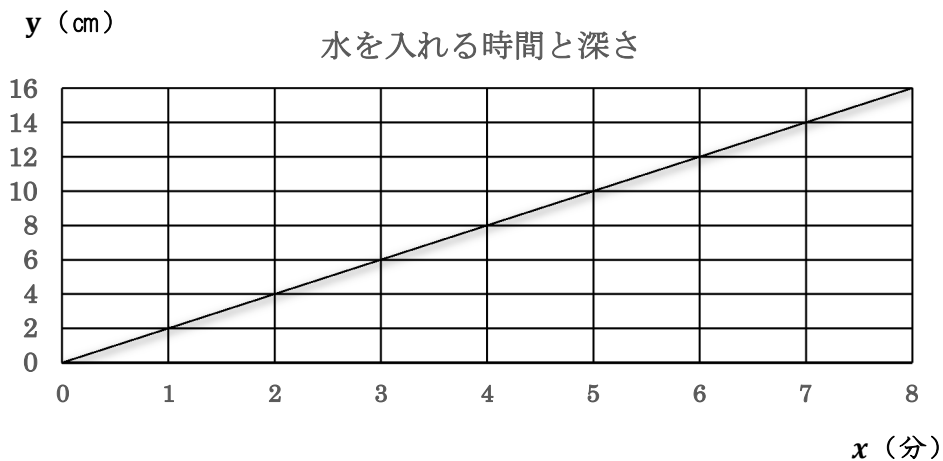
(3) 正方形の 1 辺の長さ x cm とまわりの長さ y cm
 (式 $y = 4 \times x$) (○)

(4) 200g のかごに野菜を入れたときの野菜の重さ x g と全体の重さ y g
 (式 $y = 200 + x$) (×)

1 下のグラフは直方体の水そうに水を入れる時間 x 分と、それに対応する深さ y cmを表したものです。

(1) グラフを見て下の表のあいているところにあてはまる数字をかきましょう。

時間 x (分)	0	1	2	3	4	5	6	
水の深さ y (cm)	0	2	4	6	8	10	12	



- (2) 水は1分間で何cm深くなるといえますか。 (答え 2 cm)
- (3) x と y の関係を式で表しましょう。 (式 $y = 2 \times x$)
- (4) 15分後には水の深さは何cmになりますか。 (答え 30 cm)

2 次の表は、ある針金の長さ x cmと、重さ y gを調べたものです。

長さ x (cm)	0	1	2	3	4	5	
重さ y (g)	0	1.5	3	4.5	6	7.5	

(1) 上の表で、 y は x に比例しています。表のあいているところに数をかきましょう。

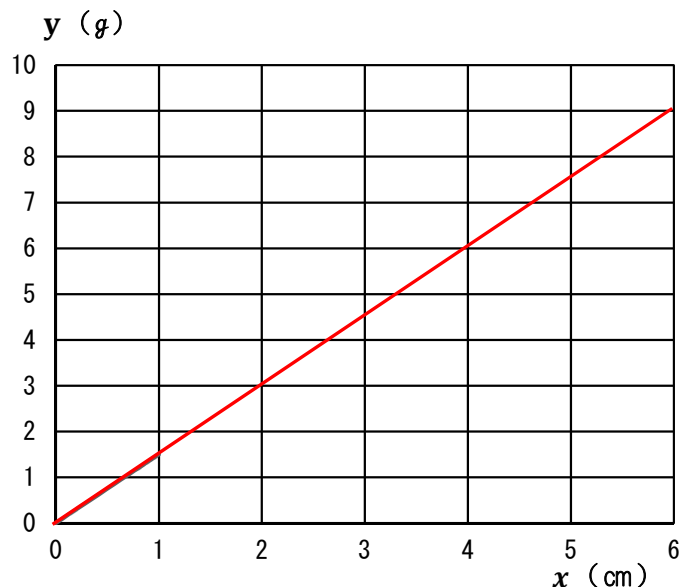
(2) y を x の式で表しましょう。

(式 $y = 1.5 \times x$)

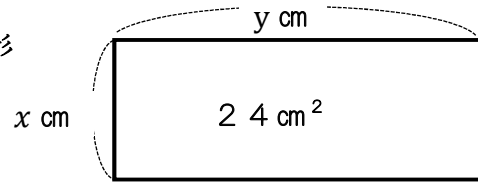
(3) x と y の関係を、右のグラフに表しましょう。

(4) 針金6 cmの重さは、何gでしょう。

(答え 9 g)



1 下の表は、右の図のように面積が 24 cm^2 の長方形について、面積を変えないで、縦の長さ $x\text{ cm}$ と横の長さ $y\text{ cm}$ の関係について調べたものです。



- (1) 縦の長さを 1 cm 、 2 cm 、 3 cm 、 \dots と変えたときの、横の長さを求めて表のあいているところにかきましょう。

縦の長さ x (cm)	1	2	3	4	5	6	8	
横の長さ y (cm)	24	12	8	6	4.8	4	3	

- (2) 下のア、イ、ウにあてはまる数を下の()に書きましょう。
 縦の長さ $x\text{ cm}$ が2倍、3倍、4倍 \dots になると、それにもなって横の長さ $y\text{ cm}$ は(ア)倍、(イ)倍、(ウ)倍 \dots になります。
 (ア $\frac{1}{2}$) (イ $\frac{1}{3}$) (ウ $\frac{1}{4}$)
- (3) 縦の長さ x と横の長さ y の関係は、比例、反比例のどちらでしょう。
 (反比例)

2 下の表は、面積が 18 cm^2 の長方形で、横の長さ $x\text{ cm}$ が縦の長さ $y\text{ cm}$ に反比例する関係を表したものです。次の問題に答えましょう。

縦の長さ x (cm)	1	2	3	4	5	6	
横の長さ y (cm)	18	9	6	4.5	3.6	3	
x と y の積	18	18	18	18	18	18	

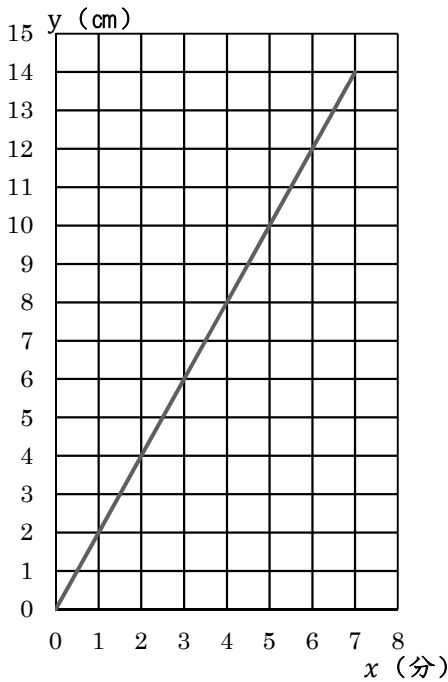
- (1) x と y の積を表のあいているところにかきましょう。
- (2) 上の表を見て、 y の値を求める式を書きましょう。
 (答え $y = 18 \div x$)
- (3) x の値が9のときの y の値を求めましょう。 (2)
- (4) x の値が10のときの y の値を求めましょう。 (1.8)

1 アのグラフは、直方体の水そうに水を入れる時間 x 分と、それに対応する深さ y cm の関係を表したものです。

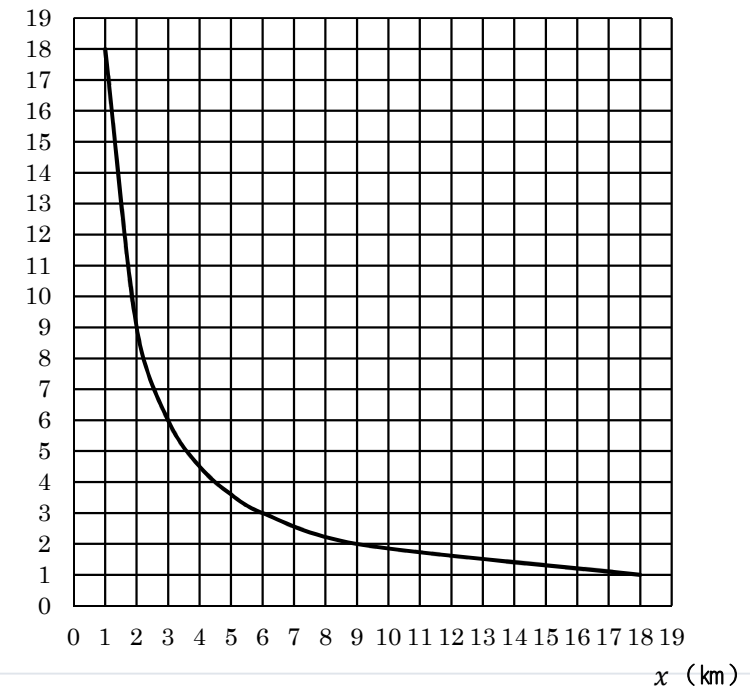
イのグラフは、18 kmの道のりを行くときの時速 x (km) と、かかった時間 y (時間) の関係を表したものです。

グラフを見て次の問いに答えましょう。

ア 水そうに水を入れる時間と深さ



イ 18 kmの道のりを行く時速とかかった時間



(1) 次のことがらは、ア、イのどちらのことを表していますか。() にあてはまる記号を入れましょう。また、どちらでもないときは、×をつけましょう。

- ① 比例のグラフ (ア)
- ② 反比例のグラフ (イ)
- ③ なめらかな曲線のグラフ (イ)
- ④ 0の点を通る折れ線グラフ (×)
- ⑤ 0の点を通る直線のグラフ (ア)
- ⑥ $y = 18 \div x$ のグラフ (イ)
- ⑦ $y = 18 - x$ のグラフ (×)
- ⑧ $y = 2 \times x$ のグラフ (ア)

(2) アのグラフで、6分間で入る水の深さは、何cmになるでしょうか。

(12 cm)

(3) イのグラフで、時速2 kmの速さで進むと何時間かかるでしょうか。

(9時間)

1 () にあてはまる数や記号をかきましょう。

比例

- ・ x の値が2倍, 3倍, 4倍, ... になると, それにともなって, y の値は, (2) 倍, (3) 倍, (4) 倍, ... になる。
- ・ 比例する x と y の関係を式に表すと
($y = \text{決まった数} \times x$)

反比例

- ・ x の値が2倍, 3倍, 4倍, ... になると, それにともなって, y の値は, ($\frac{1}{2}$) 倍, ($\frac{1}{3}$) 倍, ($\frac{1}{4}$) 倍, ... になる。
- ・ 反比例する x と y の関係を式に表すと
($y = \text{決まった数} \div x$)

2 下の表は, 面積が 18 cm^2 の三角形の底辺の長さ $x \text{ cm}$ と, 高さ $y \text{ cm}$ の関係を表したものです。次の問題に答えましょう。

底辺の長さ x (cm)	1	2	3	4	5	6	
高さ y (cm)	36	18	12	9	7.2	6	

- (1) y が x に比例しているか, 反比例しているか答えましょう。
(反比例している)
- (2) y の値を求める式を書きましょう。
(答え $y = 36 \div x$)

3 次の2つの量 x と y について, x と y の関係を式に表しましょう。また, y が x に比例していたら○を, 反比例なら△をかきましょう。

- (1) 電車が時速 100 km で走るときの, 走る時間 x 時間と走る道のり $y \text{ km}$
(式 $y = 100 \times x$) (○)
- (2) 電車が 160 km 進むときの, 時速 $x \text{ km}$ とかかる時間 y 時間
(式 $y = 160 \div x$) (△)
- (3) 電車が2時間走るときの, 時速 $x \text{ km}$ と走る道のり $y \text{ km}$
(式 $y = 2 \times x$) (○)

1 次の2つの量 x と y について、 x と y の関係を式に表しましょう。また、 y が x に比例していたら○を、反比例なら△を、どちらでもなければ×をかきましょう。

(1) 1 mの重さが0.8 kgのホースの、長さ x mと重さ y kg

(式 $y = 0.8 \times x$) (○)

(2) プールに300 m³の水を入れるとき、1時間に入れる水の量 x m³とかかる時間 y 時間

(式 $y = 300 \div x$ または $x \times y = 300$) (△)

(3) まわりの長さが40 cmの長方形のたての長さ x cmと横の長さ y cm

(式 $x + y = 20$ または $y = 20 - x$) (×)

*たて+横=20 (まわりの長さの半分)

(4) 面積が6 cm²の三角形の底辺の長さ x cmと高さ y cm

(式 $y = 12 \div x$ または $x \times y = 12$) (△)

*三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求められる

(5) 分速 x mで10分走ったときに、進む道のり y m

(式 $y = 10 \times x$) (○)

2 貯金箱に500円玉だけを貯金しています。

(1) 貯金箱を開けずに何まい入っているかを調べるためには、次の

㊶～㊸のどれを使えばよいでしょうか。全て選びましょう。

㊶ 500円玉の直径・・・26.5 mm

㊷ からの貯金箱の重さ・・・200 g

㊸ 今の貯金箱の重さ・・・1250 g

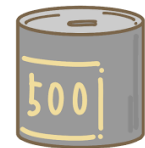
㊹ 500円玉1まいの重さ・・・7 g

㊺ 貯金をしていた期間・・・2年間

(㊷ ㊸ ㊹)

(2) 貯金箱にはいくら入っていますか。

(75000円)



貯金箱の中の500円玉だけの重さを、500円玉1まいの重さでわって、貯金箱の中の500円玉のまい数を求める。

$1250 - 200 = 1050$ (貯金箱の中の500円玉の重さ)

$1050 \div 7 = 150$ (500円玉1まいの重さでわる)

$500 \times 150 = 75000$ (500円玉が150まい)

3 大きさと厚さが同じ紙がたくさんあります。全部の重さは480 gで、そのうちの50まいの重さをはかったら60 gでした。

紙は全部で何まいあるでしょう。

(400まい)

紙のまい数は、紙の重さに比例している。

$480 \div 60 = 8$ $50 \times 8 = 400$

1 時計の長針が動く時間を x 分
動く角度を y° とします。

① x と y の関係を式に表しましょう。

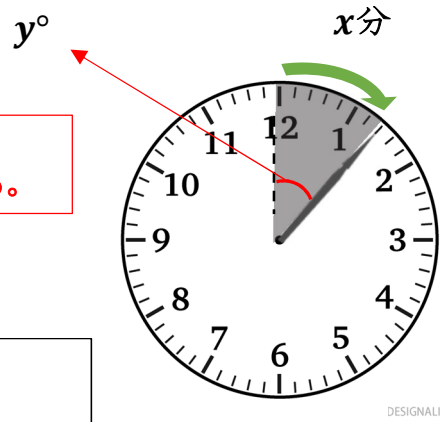
($6 \times x = y$) 1分動いたときの角度は
 $360^\circ \div 60$ 分で 6° となる。

②長針が動く角度が 225° になるのは、何分何秒たったときですか。

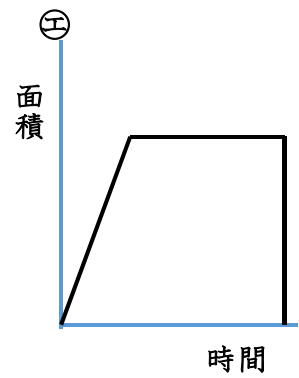
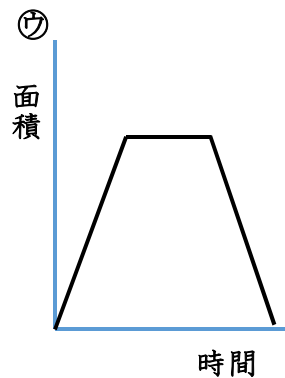
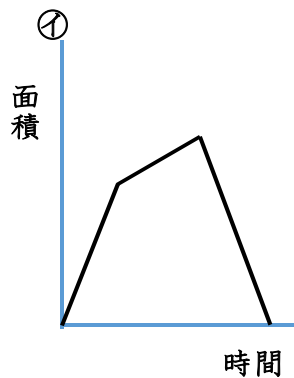
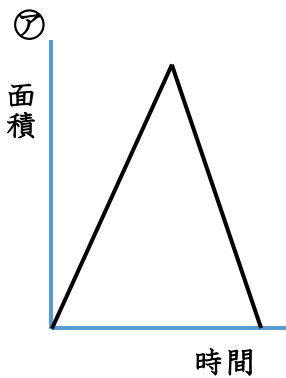
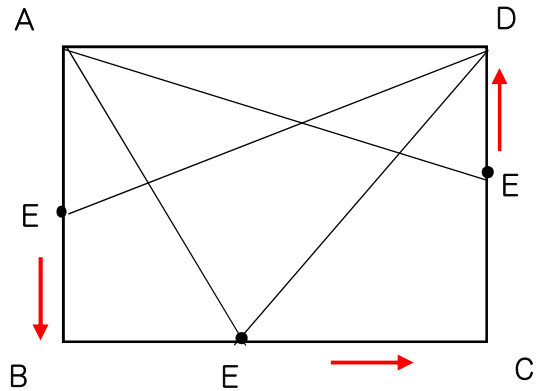
$$6 \times x = 225 \quad x = 37.5$$

$$37.5 \text{分} = 37 \text{分} 30 \text{秒}$$

答え (37分30秒)



5 右の図の長方形 $ABCD$ の周上を、点 E は $A \rightarrow B \rightarrow C \rightarrow D$ と一定の速さで移動します。移動時間と三角形 AED の面積の変わり方を表すグラフはどれですか。



点 E が辺 BC 上を移動しているときは、三角形 AED の底辺(辺 AD)と高さ(辺 CD)は、一定なので面積は変わらない。

答え (㉓)